

青梅市
学校施設のあり方に関するアンケート調査
調査結果報告書【別冊・自由回答】

令和6年11月

本資料は、青梅市学校施設のあり方に関するアンケート調査 調査結果報告書の別冊として、調査区分ごとに自由回答の結果を掲載しているものです。

なお、回答については、一部の表記統一や個人情報の保護のための修正を除き、原則、原文を掲載しています。

目次

1 小学生保護者調査.....	1
2 小学生本人調査.....	7
3 中学生保護者調査.....	13
4 中学生本人調査.....	18
5 未就学児保護者調査.....	22
6 青梅市内在住の17歳調査.....	29
7 青梅市内在住の18歳以上無作為抽出調査.....	36

1 小学生保護者調査

問 26 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。

保護者の皆様の御意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

- 別紙を見て、学校によって子ども数の偏りがあるなと思った。益々子ども数が減ってしまう学校の子は、統合も仕方ないかと思う。難しいなら、他校と合同で運動会など交流があると良いのではないかと思う。でも、少人数だと先生によく見てもらえると思うし、教室も狭いので、1クラスの人数がもう少し少ないと良いと思う。
- 統合は賛成である。1番は近隣の場所が良いと思うけど、スクールバスやコミュニティバス、市営バスなど保護者が送迎など、安心して子どもが通学できるのであれば、過疎化が進んでいる学校を統合する事は良いことだと思う。子どもの生活にも、人間関係の多さ、行事、経験、沢山のプラスが増えると思う。
- 統合は早く進めた方が良いと思います。仮に成木小を廃校にしたら今の成木小の年間の運営費をスクールバスの費用に当てた方が良いと思います。それで補えるかは、わかりませんが、少なくとも成木の人口は増える事はないので、廃校に向けて進めるべきだと思います。その様な学校が他にあるかと思うので統合、合併は特別な事ではなく、むしろ自然の流れなのだとおもいます。
- 少子化は避けられず、教員確保や財政を考えると統合も仕方ないことと考える。子どもに充実した学校生活を安全な形で受けられるような環境を望む。
- 小規模校が増えているため、統廃合を視野に入れて考えるべき。運営の難しさ、生徒への影響を考えた時に、現在の体制のままで運営は難しいと考えるため。
- 児童・生徒数の減少を考えると、学校の統合を行うべきだと思う。建物の老朽化が進み建て替えを検討して頂きたい。夏の気温上昇は今後も

厳しくなると思うので、通学時間がかかる場合にはスクールバスの運行も考えていただきたい。小規模特認校はその特色を生かし継続して頂き、また不登校児童が通えるような施設等も検討して頂ければと思う。

- 私自身も小学校のときの児童数が少なく、複式学級でした。人数が少ない分、学年にかかわらず学校にいる全ての友だちや先生方と交流があり、楽しい学校生活を送ることができました。その後統廃合となり今の成木小になりましたが、当時母校がなくなってしまうということで、卒業生や地元の方々の反対もかなりあったと記憶しています。現在は当時の学区内に小学生が1人しかいないと聞いていて、今となっては子どもたちのためにはあのタイミングで統廃合してよかったのではないかと考えています。子どもたちがたくさんの友だちと楽しく学校生活を送れる環境が整うことを願っております。
- 施設運営費を考えると、学校の統合をしていくことが必要だと思う。老朽化の施設がたくさんある地域なので、考えた方が良い
- 子どもの数、教師の数が減っているので、小中学校の統廃合は致し方ないと思っている。ただし、統廃合を行う場合でも、特に小学校の場合は行政での通学手段を確保は必須であると思う。また廃校になってしまった校舎はそのままにせず、維持費を確保できるくらい利益が確保できるよう有効に活用してほしい。(例えば千葉にある道の駅保田小学校など)
- 古い学校が多く、維持管理費がかかるので、児童が少ない学校は統合したほうが良い。
- 統合はやむを得ないが、子どもたちの通学方法、通学時間は安全性と利便性を良いものにしてほしい。

- 学区の見直しも行ってよいと考えます。
- 地域の学校として存続するために、7小・6中・市民センターが合併する必要があるのなら、是非それがよいと思います。
- 校舎はすぐに新築する必要はないと思います。広い建物のほうへ合併し、施設が足りないようであれば増築を検討。東京都の「公共施設の多摩産材利用促進プロジェクト事業」などの補助金を利用し、青梅ならでは、小曾木ならではの木造校舎を作って欲しいです。
- クラス替えできる生徒数が望ましい。クラス替え無しで6年間過ごすのも馴染みがあってよいが、イジメがあった時に逃げ場がない。小学校の空き教室が目立つなら、老人ホーム、保育園などを入れても異文化交流的で良いのでは？
- 統合はせず、特徴をいかした教育をして欲しい。共働きの家族が多い時代になったのだから、PTA活動の有効性を検討していただきたい。
- 人数が少なくなった小学生で通学距離が遠くなるのは不安である。少人数だとクラス替えがなくトラブルがあったときは辛いこともあるが少ない人数だと子どもたちの距離も縮まり男女ともに仲良く協力できる環境になりやすく大切なことだと思う。少ないからこそその良さもたくさんあると思う。
- 青梅は広いので、今でも通学に苦勞する児童がいます。親として低学年はさらに心配でしょう。路線バス使用ではなく、もっと安心なスクールバスなどが充実しなければ子どもは増えないと思っています
- スクールバスを充実して、希望者には学区外の学校へ転校して通える制度を設けたら、いじめや人間関係のわだかまりを改善できると思います。いじめには環境を変えるしかないと思います。
- 人数が少なくなった=統廃合とは考えてほしくないです。第七小地域は学区も横に長く、他の学区に通学するのはとても大変です。自然も多い学区で、様々な体験ができ、情操教育にとてもよいと思います。形は変えたとしても、小曾木地区に学校を残してほしいと強く願う

- なんとしてでも小曾木地区に学校を残さなければならぬと思います。地域に学校がゼロになってしまうと、まず移住する人も期待できなくなり、さらには住民たちの人口流出も考えられます。過疎化が急激に進み、治安の悪化も懸念されます。そうすると、近い将来、小曾木は荒廃した地域となってしまいます。小曾木の豊かな住環境を守るためには、学校が必要なのです。
- 児童数が少ないから廃校にし、近隣の学校に通わせればよいという安易な考えでは、地域の問題の根本的な解決にはならないと思います。
- もしも新体制で学校存続ができるのであれば、「地域（または地域外）に開かれた学校」であると思います。例1：7小いろいろ庵の一般公開（児童や地域の人ガイドする日も設ける）例2：図書館の充実、3施設が合体するとして、今以上に蔵書を充実させる。（参考：飯能高校すみっコ図書館など、全国の事例を参考に）地域の人に、選書してもらうコーナーを設置（地域には様々な人材・スペシャリスト多数いるので、その方々と連携）
- 少人数というのはデメリットではなく、むしろメリットだと捉えていただき、是非青梅の学校教育の多様化と充実をはかって欲しいと切に願っております。
- 小規模特認校における教育に注目しています。一番の懸念は、社会性や多様性をどのように身につけるのかということ。もう一点は、交通の便が非常に悪く、七中については、送迎ができなかった場合の交通手段が非常に困難なこと。公共バスの停留所を検討すべきと思います。朝と夕方だけでも。小規模校の体験授業や他校との合同体験学習などあれば、もっと興味を持つご家庭が増えるのではないかと思います。各地域の伝統や特色を大切にするためにも、統合は可能な限りして欲しくないです。
- 統合については、学校側の事情と家庭の両面からじっくり考える必要があると思います。特認校制度は、結果的にその学校が大変になっているという実情もあるので、安易にするべきではないと考えます。特色ある教育を打ち出したとしても、ほとんどの家庭は、その教育を受けさせようと学校を変更しようと考えとは思えま

せん。であれば、そもそもの学区を変えてしまう方が現実的かと思います。後は施設面の老朽化が非常に気になります。

○成木小と第七小の教育内容（教育活動）は、ほぼ同じで、両校とも非常に素晴らしい教育方針であるのにもかかわらず、なぜ成木小だけが「小規模特別認定校」なのでしょう？第七小もそのようになるべきであるのに、誰に聞いても「成木でやっているから、小曾木ではできない」との回答です。青梅市では、小規模認定校というのは1校のみ、という決まりでもあるのでしょうか？第七小の児童数が減少しており、ゆくゆくは児童ゼロになる学年も出てくるかもしれません。その対策としては、移住斡旋はもちろんですが、まずは小規模認定校にして、市内の希望者（希望家庭）を第七小に通わせることが第一のステップかと思います。

○第6支会の中では、「新校舎を作りたい」という意見も多少見られましたが、おそらく青梅市として小曾木地区への予算を削りたい中で校舎建築は難しいと思います。ハード面は将来的に検討するとして、まずはソフト面での改革を望みます。

○先日7小と6中で総合と社会の授業をさせていただきましたが、生徒たちの学力と思考力発言力のレベルの高さに驚きました。少人数制で先生方のきめ細やかな指導と、世代を問わない仲間たちのなかで色々と学びながら育った賜物だと感じました。

○この際、生徒数を増やすためにも、「英会話」に特化した学校にするのもよいかと思います。「ドイツ語」「フランス語」などの第2外国語にも触れられると良いです。

○人数が多すぎても少なすぎても問題があると感じます。また、逆に良さもあります。進学した時にショックで馴染めないなど心の変化に対応出来ないが無いような教育をして欲しい。

○少人数学級がいいか大人数がいいか選べるといい。

○小中学校の荷物が重すぎる。毎日の通学で子どもに持たせる重さではないので、教科書は電子データで持ち帰る必要をなくす、学期ごとにお道具箱とか持ち帰らせない、などを検討してほ

しい。この辺りが改善しないと、統廃合などで通学距離が伸びた時に送迎を考えなくてはいけなくなる。

○ICT教育を充実させればオンライン授業等で学校に通いづらい子ども達も学びやすいのではないかと考えます。授業内容をアーカイブにして他校の生徒も見られるようにできるとか。矛盾しますが、子ども同士の実際の関わり合いも大切ですよね。統合してより多くの関わりを持てるのであればいい事だと思います。しかし、スクールバスは必須だと思います。予算はかかるかもしれませんが、未来の子ども達の為にかかるべき予算ではないかと。何かに特化した学校であれば、他地域からの移住者も増えるのでは。生産から販売までの農仕事ができる学校、スポーツ専任講師在籍の学校、夕飯の子ども食堂併設の学校、バイリンガルになる学校…などなど。勝手な妄想ばかりですみません。

○地域のコミュニティとのつながりがもてる機会があると良いと思う。すでにあるならば、情報発信してほしい。情報端末も子どもたちや先生がもっと活用できる環境にしてほしい。

○子どもの豊かな学びのためには人材が必須。統廃合し、規模が変わって、教師が少なくなるなら本末転倒。子ども1人あたりに対する大人の数が少なくなるようなら統合は必要ない。

○三小3中の学区の見直しが必要。生徒数が多すぎて教室も狭く、行事の時も父母の参観がし辛い。今井小、泉中など近隣学校への変更を柔軟に可能にして欲しい

○現在、七小へ子どもを通わせている保護者です。他校との統合、他校への分散、小中一貫校、義務教育学校、等、様々な噂や案件を耳にしています。子どもにとってどの様な形が一番良いのか、メリット、デメリット、それぞれ有り、難しい問題で答えに辿り着けずにいます。しかし、他校への分散については、通わせたい学校が選択出来るか出来ないかによって、大きく印象が変わります。選択出来ない場合、評判の悪い学校へ通わせなくてはいけない可能性が有り、保護者としては不安です。青梅市全体と言うより、私的な価値観のお話で恐縮ですが、正直な意見として出させていただきます。宜しくお願いします。

○近隣の小学校と通っている小学校の生徒数の差がありすぎる気がします。一つの小学校だけ、どんどん生徒数が増えているので、学校区域を少し見直して偏りすぎる生徒数を是正してほしい。

○近い学校があるのにも関わらず学区のせいで少し離れた学校に行く事になりました。それは何十年も前から続いていてこちらから問い合わせないといけないようでした。うちはたまたま学区の方に知り合いも多かったのもそのまま通う事にしましたが、このような場合はお知らせのお手紙や広報などで変更出来ることを教えてもらえたら良かったと思います。藤橋小学校は生徒数も少なく学童保育の争奪戦も無いようでしたしアットホームな感じを受けました。(一年間だけ学童の空きなく通った過去があります)偏りがあり過ぎていて残念です。もう少し住宅建設の現状など踏まえて学区に柔軟性を持たせて欲しいです。

○居住地から指定の中学が決められるのではなく、進学に際して自由に選択出来るようにして欲しい。

○学校規模の適正化も重要ですが、通学路の安全確保も同時に見直していただけると幸いです。子どもたちが歩いたり自転車で通る道は歩道が大変狭く、トラック等の大型車両が頻繁に通るためとても不安です。明らかに速度違反で走行している車両や、信号無視が繰り返され1年に2.3回交通事故が起こる交差点もあります。道幅が狭いのは仕方ないのかもしれませんが、通学時間だけでも警察官の方の見守り等お願いできたら違反をする車も減るかと思いますので、是非ご検討いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

○学校の統合の際は、子どもたちの受験などに影響のないようにしてほしい。通学区域に関係なく、学校を選べるようにしてほしい。

○学校の設備の老朽化がとても気になります。理科室などの特別室の設備が故障していてもそのまま放置されていたり、プールも古く、トイレが臭すぎると夏の間に結構、話してきます。勉強面ではすこし世間に比べ遅れているのか現代が昔に比べて遅れているのか、出来る子と出来

ない子のレベルを合わせるのではなく、少人数クラスなどでレベル別で勉強ができるといいのかなって思います。給食についても栄養に気をつけて調理されていると思うのですが、味がイマイチらしく魚好きな子だったのに魚嫌いにするくらいの生臭さが目立つようです。もう少し美味しい給食がでると良いのかなって思います。

○学校の施設自体が古いから 耐震補強してても何かの時 不安

○学区外の近所の学校にも通えるようにしてはどうか。すぐ近くの学校なのに片や人数いっぱいクラス数がたくさんあるのに片や一学年1、2クラスしかなかったりして、学区にとらわれず、本人が通えるなら、自由選択できるとよい。

○まず、現在のクラスの人数が多すぎと感じています。大人数が苦手な子どもたちのために、少人数(10人以下、10~20人くらいなど)の学級も設けていただきたいです。特別支援学級は少人数ですが、入るためのハードルがとても高いです(WISCを受ける、医療機関の予約が数ヶ月待ち、医師の診断が必要、審議会のため早めの申し込みが必要など)。また、泉中学校は若草小と霞台小の2つの小学校が合同になるので、さらに人数が増え、ひとつの教室に対して生徒が多すぎて窮屈な様子です。聴覚過敏の特性を持つ子どもには辛い環境です。また、2つの小学校の子どもたちの雰囲気が違うため、中学入学後に、いじめや不快な体験に遭うのではと懸念しています(既に体験したことがあるため)。上記を理由に、学校を統合するのではなく、小規模で子どもたちが過ごしやすい環境を作っていただきたいです。また、机に座って授業を聞くのが辛い子どももいます。現在の学校の制度に合わずに不登校になり、友達とつながれず、人目を気にして自由に外へ出られず、辛い思いをしている子どももたくさんいます。引きこもりにならないように、将来の選択肢が狭められないように、社会とつながる続けるために、体育や調理、学校外での活動など、何でも興味ある科目を『選択』できたり、様々な体験ができる環境を作っていただきたいです。今、それが叶うのは、フリースクールのみです。フリースクー

ルは金銭的に高額で、親子ともに重圧があります。学校では生きづらくフリースクールへ通いたい子どもたちが増えている一方、フリースクールはスタッフさんが少なく、公的なサポートがほとんどないという厳しい状況です。全教科を一律に学ばせるのではなく、オランダなどのように得意なことを専門的に学べるコースを取り入れ、将来の仕事につなげるシステムを、公立の学校にも取り入れていただきたいです。どうか日本の中他の地域ではなく、青梅市から、早急に、開けた新しい教育制度を、実行していただくことを切にお願いいたします。

○今年度は学級人数に満足だが、昨年までは大変不満だった。たった1人足りないせいで、コロナ禍に40人学級で、しかも担任の先生も大変だと仰っていた。決まりだからだと思うが保護者や学校の先生、当事者の生徒の意向を聞く事もなかった為、現場の大変な状況がお役所には届いていなかったと思うが、1人の人数の融通もきかないのに、何が子どもたちにより良い教育環境を…と言っているのか理解に苦しい。このアンケートも、やっている感だけを出すことはやめてほしいと切に願う。このまま西部と北部で過疎化が進むのは仕方ないとの市の考えならば、統合せざるを得ないと思うが、学校がない所に子育て世帯は住まない。統合以前にどうすれば市内に万遍なく住民が住んでくれるのかを市の職員が所属に関係なく横に繋がって模索すべきではないか？と言って誰でも移住してくれば良い訳ではなく、年収800万前後の世帯をたくさん呼び込まなければ貧困化してしまう。どうしたら青梅市に来てくれるのか、そして青梅で優秀な人材を育てられるのかに力を注ぐべきだと思う。誰一人取り残さないのも大切だが、真面目に働く中間層が損をしない市にするのはどうか。提案として公立小学校における二言語併用授業のモデル校である豊橋市立八町小学校の「イメージ教育コース」を参考にしてみしてほしい。特色がありとても良いと思う。また、現在せっかく長洲に航空学校の学生が来てくれているのだから、川向こうの小学校は週一で交流を図り、彼らの志しに触れさせてもらい、夢や目標を持つ心を育めるのも特色にできないだ

ろうか。さらに、航空学校にはこの先も科を置いてもらうなど、市としても利便性の確保など早急に対応をしてもらいたい。低所得世帯の子どもは低所得に治まる傾向が高いので（家庭環境は大事）是非とも中間層世帯を増やしてほしい。私自身も青梅市で育ち、中学では成績も常に10位くらいにいて、都内の私立進学校へ通ったが、田舎で頭が良くても都内では全然通用しなかった。やはり環境は大事だと実感した為、子どもたちには住むのは良いが、教育は今の青梅で受けさせるつもりはない。筑波の様な近未来的な街並みの地域があっても良いと思う。自然豊かだけでは人は住まない。魅力ある教育で子育て世帯を呼び込めるようスピード感を持って取り組んでほしい。

○学区で区切られていると、通学時間が長くなってしまいう地域もあるため、学区で区切るのでは無く、自宅から近い学校を選択できると良いと思う。

○大人視点の意地の張り合いではなく、本当に子どもにとって何が必要か？の議論をして欲しい。未来を考えるには固定概念は取り除かないと新しいものは生み出せないことを肝に銘じて下さい。

○吹上中学校はありがたいことに自転車通学が許可されていますが、成木街道などは狭い道路なのにダンプの往来が多く、逆にとても心配になります。過去にも事故はありましたし、かえって自転車通学はなしにしてもらった方がいらいです。できればマイクロバスなど人数に応じた車両でスクールバスのように送迎してもらえたら一番いいなという希望はありますが青梅市の予算の関係で今まで実現されたことはありません。有料でもかまわないので実現されるといいなと常日頃思っております。子どもたちの安全のために何か対策を検討していただけたら幸いです。

○学区によって、児童数の偏りがある為、学区の見直しも行ってよいと考えます。

○いじめのないクラス作り

○1クラスの人数が35~40人だと多すぎる。少なくとも30人以下のクラス編成の方が教師の目が行き届き良いと思います。

○このアンケートを見ると、子どもの人数にだけ焦点があてられているような気がします。確かに子どもは年々減少しているのは事実ですが、多様な子どもが非常に多くなっているのが現状だと思います。(保育士として働いている保護者です)今、学校の担任の先生は1クラス1人で30人前後の子ども達を見ていると思います。先生の負担が多い気がします。1クラスの子どもの人数を減らしながら担任は2人担任にするなどの配慮も必要な時代だと思います。

○二中はコロナ禍でジャージ登校OKの日もありますが〈※近いうちに以前のように毎日制服登校になる〉との噂も聞きました。シャツのボタンをしっかりと上まで止め、炎天下の中重い荷物を背負って遠い子だと30分程歩いて登校する生徒の負担を考えると、夏場は毎日ジャージ登校でも良いのではと思うのですが、絶対制服でなければいけない理由はなんでしょうか。学校に意見をあげたくても、上記※と決定しているようで意見をあげられませんでした。子どもの命にも関わる問題です。ぜひ検討していただきたいです。

○児童数、学級数の多い学校では一人一人に目が行き届かないことや教員の負担が大きいことが課題です。副担任をつけることを希望します。各クラスにつけることが難しくても2クラスに1人でも変わると思います。ご検討よろしくお願いいたします。

○統合等の話とはズレますが、小学校の支援員さんの質を聞きたい。今、色々な児童がいます、その児童に対応しきれてない支援員が多すぎと思う。「昔はこうだった」「子どもはこうあるべき」「わがまま」といった思考を持った世代の方々が支援員をしているため、多様な子どもに対応しきれてない様子をよく見かける。以前、泣きながら暴れていた児童を抱えて、昇降口から放り出すところを目撃したことがある。無資格でも子育て中のママ等を校内支援員等にしたほうが、子ども達を受け止める力を持っていると思う。柔軟な採用をお願いしたい。こういう所から改革していかないと、公立小に行く子はますます減ると思う。私は、介護福祉士しか持

っていないが、校内支援員や支援級の児童の支援やりたいと思うが採用枠がない。

○どんな特性を持った子どもも安心して通える学校づくりを目指して欲しいです。教員数の確保と充実(支援員を含む)、学びの多様性も視野に入れた柔軟な対応ができる体制づくりを求めます。そのためにも、クラス数は気になりませんが、少人数のクラス編成ができればいいと思います。

○珍しいアレルギーの為、学校の先生によっては偏見の目で見られ、理解されないことがあります。小学校でも理解して先生によっては理解して頂けず、何回も連絡したことも多々ありました。中学に上がるうえで理解して頂ける先生はいるのか？また、郊外学習も増えて行く中で臨機応変に対応してもらえるのか？病院との連携は出来ているのか？不明点が多いです。また定期的に通院が必要の為、休まざる得ない中で勉強についていけるのか？学級数も課題はあるかと思いますが、持病をもっている子に対しての理解ある対応の強化をお願いしたい。

2 小学生本人調査

問 6 青梅市では、皆さんやこれから入学してくる人たちがより良い学校生活を送れるための、ちょうど良い学校や学級の大きさについて検討をしています。ご意見があれば、あなたの考えをお聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

○子どものコミュニケーション能力を高めるために、一学年のクラス数を3~4クラスにしたほうが良いと思う。人数が足りなければ、他の学校と一緒に学習する機会を増やせばいいと思う。

○学年に3組は必要

○一学年130人くらいが良いと思います

○ちょうどいいと思うのは、一学年100人くらいが良いと思った。理由：人が多すぎると、課外学習などがやりづらいから。

○クラス全学年を三組にしてほしい

○クラスはもうちょっと多い方がいい(3クラス)。校庭は大きいからそのままいきたいです。理科室をリニューアルしてほしいです！お願いします

○全校生徒は500人位が一番ちょうどいいと思う

○4クラスあって、ちょうどいいし、1年生のときから、4クラスだからいろんな人達とクラスになれるから、いろんな人達と関わることができて、いい。(別に、4クラスを増やしてほしいわけではないです。)

○1学年につき4組あった方がいいと思いました

○1学級につき、100人くらいが良いと思います。

○1クラスにつき 20人 学年で 65人

○学級は2~3クラスくらいでいいと思います

○全学年が2クラスずつくらいの人数がいい

○一学年最低60人いればいいと思います。私の学年はちょうどいいと思います。(90人くらいです)

○一学級で、クラス替えができないのが嫌だ。学級活動をもう少し多くしてほしい。

○60~120人くらいがちょうどいいと思う。少なすぎて多すぎてもつまんない

○1学年に40人以上100人未満

○一学年で、30人くらいの人数がいいと思う。30人なら楽しいし、先生の指示も通ると思うから。

○全学校、全学年の人数をそろえる。

○トイレキレイにしてほしい。1クラス35人がいい。

○1クラス35人

○1クラス35人

○35人程度

○たくさんのクラスメイトがいれば勉強を教えあえたり、色々な意見を聞けるから多い方がいい。(一クラス32人くらい?)

○一クラス30人くらいがいい

○一クラス28~33人位が良いと思う

○クラスの人数で30人程度

○40人学級の時があったけど多すぎるから30人くらいがいいと思う

○40人学級だったら教室がぎゅうぎゅうなので30人位が良いです

○40人になんか変わらないで30人が良いです。

○40人だと多すぎるのもうちょっと人数を少なくしてほしい

○だいたい30人くらいの学級で設備がいいところが良いです。例エアコンがたくさん

○だいたい、30前後くらいがちょうどいいと思う。

○30人くらいがちょうどいいとおもいます!

○1クラス30人がくらいがちょうどいい。

○1クラス25~30くらいがちょうどいいと思います。35人だと多すぎて先生が授業でみんなの考えを見れなさそうです。

○29人今のままでちょうどいいから

○29人くらいが、ちょうどいい

○今のクラスは29人で30人くらいがちょうどいいかなって自分は思います!!

○プールの大きさが今の学級の人数ならもう少し深く広くしたほうがいいとおもう。一クラス25人位がいいとおもう。

○25人ぐらいがいいと思う

○学級の大きさ：一クラスあたり25人程度。学校の大きさ：不要な部屋などを減らし、必要な部屋にする。

○一つのクラス25人くらい

○20~30人

○1クラス15~30人くらいが一番過ごしやすいと思われる。

○15人から25人のクラスで、クラス替えはしてもしなくてもいい。他のクラスとの交流があるといいと思う。

○10か20人くらいで1クラス。教科によっては他クラスと合同にして、習得別などで少人数グループなどにすると個人が尊重される。1対35の昭和のような授業スタイルをする時代ではないと思う。

○人数を増やしてほしい

○人数が多いとみんなとふれあいでいいからいいと思う

○今通っている学校から他の学校に変わるの嫌だと思います。

○高学年になって体が大きくなるのに、人数が多いため教室が窮屈です。机も大きくなるし、机の横に物をかけたりしてあって教室内を歩きにくい。

○人数が多い学校はクラスを増やして1クラスが少なくなる方がいいと思う。

○人が多いほど、やれることが増えるから増えた方がいい

○私は最大人数の35人が良いと思っています。なぜかという、先生との一人ひとりの時間は少なくなりますが、その分クラスが明るくなり、人が多いことによって意見を主張しづらいという子もいると思うけど、その逆で、多いことによって流れで意見を主張しやすい人もいます授業中でも色々な意見を交換することができるので学びにもつながると思います。勉強だけでなく運動の際にもです。クラスには運動が苦手な人と得意な人で分けられると

思います！でも高め合うという経験にも繋がります！

○にぎやかが好きだから多い方が好き

○いつもありがとうございます！！今のクラスも気に入っていますが、もう少し人数が多ければもっとにぎやかで楽しい学校になると思います。これからは宜しくお願いします。

○あまり話したことがない子ともコミュニケーションをとる機会がもてるように、クラス替えができる程度の人数がいるといいです。6年間同じクラスだと、人間関係がほぼ固定化されていくと思います。

○・青梅市の魅力を伝え、人口を増やしてほしい・学校全体を新しくしてほしい（トイレとか）・学校を近い学校を合体させちゃう

○スクールバスを作りたい（毎日だと人件費とかがやばいから、学校によってバスの日を変えたり）

○市内の好きな学校に行けるように市がスクールバスを作って運営をする。学費を割引にする取り組みを行って、浮いたお金を別のことに回せるようにする。

○スクールバスをだしてほしい。

○特にないです。今が丁度いいと思います。

○多すぎず少なすぎずが一番いいと思う。

○特にありません（いまのままだとちょうどいいです。）

○全部の学校がバランスの良い人数の方がいい。

○人数に合わせて学校を大きくしたり小さくしたりする

○人数が少ないときは、授業を合同でやるとかする

○人によって”ちょうど良い”は違うんだからこれからの若者に委ねるのだ

○私は今ぐらいの学校規模がちょうど良いと思っています。このままだと好ましいです。

○今までのままだと良い。他の学年とも仲良くできるから

○今までどうり普通に過ごしたり遊んだりできるようにしてほしい

○今のままで丁度良いと思う

○今のままでいいです

○今のところちょうどいい

○学年の人数が偶数だと、ペアが作りやすくていいと思います

○下級生の人数が少しずつ減ってきていると思います。青梅市の良いところなどをポスターやSNSで発信するのはどうでしょう？1学年に1クラス分ぐらい下級生が減ってきているので1クラス分ぐらいの人数を呼んでいただけるとたすかります！！

○それで子どもたちが増えるなら賛成する

○このままで良いと思う

○このままでいいと思う。

○いまのままで、ちょうどよいと思うし、入学してくる人も良い学校生活が遅れると思う

○いつもありがとうございます！丁度いいです！！

○いいと思います！

○snsを使ってもっと4小や他の学校のいいところをひろめれば人が増えると思う

○特にありません、ちょうど良いと思います。

○同じ学級の友達と関われる事をもっと行うといいと思う。

○都会みたいに芸能人が来て勉強を教えてほしい

○仲良したい

○中学年から高学年まで、入学してきた子に仲良くすればより良い学校生活が送れると思った

○中を深める！

○男子・女子の人数が同じくらいが良い。

○他の学年との交流を増やしたりしたらいいと思います。

○他の学年とかと遊ぶこと！

○全学年が交流できるような行事をやったりする。生徒同士で勉強を教え合う時間を作ったりする。

○全員平等に仲良く楽しく差別はなしの学校が良いと思います。

○人気な給食を多く食べたい

○社会科見学などをみんな行けるようにしたい（その年によってお金がなかったなどをなくしてほしい）

○算数や社会などは大丈夫だと思いますが、英語が欠けすぎていると思います。先にローマ字とかを習うと、英語との区別がつきにくかったり、

中学生で苦手な人が多いのに小学校の授業だと頭に入りにくい気がします。

○今、精神的な事情により校門からの登校が厳しい生徒が多々います私も1年前までそのような生徒でした。そこで多くの生徒は保健室の入口からの登校が一番精神的に楽な登校方法だとなっていますが、しかし保健室からの登校では身体測定などの日は保健室に留まることができず早退や教室に行かなくてはならずとても効率が悪いと思いました。なので体調が優れない生徒ではなく上記のような児童のための控室を作れることを僕は提案します。

○携帯をもってきたい 階段では無くエレベーターにしてほしい

○泣いているこの話をよく聞き、泣かせてしまったこの話だけではなく泣いているこの話のことをちゃんと考えてほしいです。相手にされると安心するから。相手にされない子が増えるといけないと思うし、難しいことかもしれないけど考えてもらいたい。

○楽しくする。

○楽しい授業を増やしてほしいミライラボとかの子も授業させてほしい

○学校の近くにもっと幼稚園や保育園を作るといいと思う。そしたら学校の児童の人数が増えると思う

○学校のみんなのできることをする

○夏休み学校に入りたい

○夏休み、冬休みを無くして、六年からは七時間目も作った方がいい

○一時間目の始まりの時間を早くしてその分、休み時間を長くする。

○もっとパソコンを活用してスライドを作ったりし、大人になるための土台作りを始めてもいいと思います。

○みんなが態度よく接しほど良い程度で関わりを持つのがいいと思う

○ストレスをできるだけ減らす

○いまの小学4年生がしっかりしている。

○いっぱい食べてほしいから給食に力を入れる

○いじめないこと

○5時間授業にして

○1人1人がわるいことをしなければいい学校がよくなる

○・喧嘩や言い合いがないように思いやりのある学校にしていきたい。

○・休み時間に誰か用事がなかったら体育館を開放する。

○1年生から6年生まで仲良くしたいからなかよし班などをするといいと思います。

○冬でも入れる市民温水プール

○余っている教室も少なくはないから、しっかりと使ってほしい。

○和式から洋式のトイレにしてほしい

○遊具を増やす

○遊具を増やしてほしいです

○遊具を増やしてほしい。中休みと昼休みの時間を延長してほしいです。クラブを行う頻度を増やしてほしいです。

○遊具を増やしてほしい。なぜなら、この学校は校庭が広いのに、余分なスペースが多いから。

○遊具を更に増やす。絶対をお願い!!

○遊具がもっとほしい 5時間授業がもっとほしい

○入学したときにみんながきれいだと思うようにしたい。

○大きめのエレベーターを付けてほしい。骨折などの登校できる人が人にとって生活しやすい物（スロープなど）を作してほしい。いろいろな本を図書室においてほしい（恋愛系など）。クラブ活動の回数を、15回くらいにしてほしい。

○大きいサイズにする

○体育館の道具を新しくする。運動ができないこのために専用の道具を買う

○体育館がもっと広い方がよい

○多分予算が足りなくなると思うけど昇降口の地面を石よりやらかい素材に変えてほしい。僕は石のところで転んで骨折しました、なので骨折する人を減らすために素材を変えてほしいです。

○掃除を楽にしたいから、ルンバとか掃除機がほしい 休み時間を増やしてほしい（コロナで5分減った）

○掃除をルンバとかにやってもらおう。給食をバイキングにする。

○全教室に新しいロッカーがいい。遊具がサビだらけだから遊ぶのが怖いっていった1年生がいたので新しい遊具がいい。トイレだけがきれいになったから、床、階段もきれいにしたい。水泳の授業の時、暑くて入れない、雨で入れないで全然プールに入れていないので、温水プールだといつでも入れるから、温水プールの方がいい。公立の学校も、文化祭をやりたい。他の学校には、部活があるのに霞台小学校にはないのがきにいらぬ。休み時間を増やしてほしい。パソコンをいつも持ち帰りたい。登校の時間を早くして欲しい。なぜなら、前は、早く開いて、校庭で遊べたから。普通に考えて遅いと思う。もう少し考えて欲しい。

○青梅市の全学校をリフォームする（きれいにする）

○私は学校のものの修理と学費などについて考えてほしいです。学校のものや校舎自体も古いものが多いです。なので修理や買い替えたりしてほしいです。学費は青梅市の方々の方でたくさん支えてもらっていますが、移動教室などにかかるお金が高く、制服を着る学校は制服の費用も支えてほしいです。

○施設、設備をきれいにしてほしい。例えば、トイレが和式なのは、洋式に変えるなど。一クラスあたり、35人程度が良いと思う。学校全体で動くことや学年などで動く機会を増やしてほしい。

○四小の2,4,6年のトイレを全部洋式にほしい。

○校庭の遊具がもっとほしい 毎日5時間授業がいい

○靴箱をきれいにして。トイレふやして。水道を大きくして

○業者さんに掃除してもらっているけど、トイレが汚くて臭うから、もっときれいにしてほしいです。

○教室を広くしてほしい

○教室を広くしてほしい

○教室をもっと大きくしてほしい

○教室をもっと広く

○教室をもっときれいにしてほしい。

○教室の床のタイルの溝に入っているゴミを取って欲しい。エレベーターをつけてほしい。一人一つタッチペンがほしい

○学校内のトイレを洋式トイレにして欲しい

○学校生活をより良くするために学校内を清掃してほしい。うちの学校でいうと、体育館のトイレが掃除されているところを見たことなく、少し臭っているので清掃してほしいです

○学校はもう少しきれいにする

○学校のトイレを洋式にいてほしいです。

○学校のトイレをきれいにしてほしい クーラーをもっと効くようにして

○学校にエレベーターを作って欲しいそれかブランコを作って欲しい。お迎えに来てほしい。宿題なし。給食を豪華にしてほしい。学校に映画館を作って欲しい

○階段をエスカレーターにしてほしい。

○一年生の教室の前のトイレだけ汚いままなのが良くないと思う。校舎の壁が汚い下の階の壁だけきれいにしても気分上がらない。先生の机が錆びて一番前の席だから目に入る気分がならない。プールの見学者の席がきしむ音きしむ音がして集中できない。

○ロッカーが小さいから大きくしてほしい。図工室のテーブルをきれいにしてほしい。

○もっと学校をきれいにしてほしい

○みんなが暮らしやすい学校を求めています。それより上は求めません。

○ブランコを設置してほしい

○ブランコ

○トイレ洋式

○トイレを洋式にしてほしい！

○トイレを洋式にしてほしい

○トイレを新しくしてほしい

○トイレをきれいにすればいいと思う（鼻くそとか足跡とか）

○しっかりした、更衣室

○クラブ活動などで使う道具などの整備

○クーラーを全部のへやにつけて、トイレをきれいにして机も椅子も学校自体もヒビが入っているところがあったりして怖いからかえてほしい

○エレベーターをつける。校内をもっと綺麗にする。クーラーを効きの良いものにする

○エレベーターを追加してほしいです。なぜなら移動が楽になるから荷物が多いときに体力が削れず安心して家に帰れる。最後に喘息の人など体力が少ない人などに負担がかかりにくい。

○エレベーターをつける、プールのトイレをきれいにする、エアコンの強さをもっと上げる、エアコンと扇風機を同時に使ってほしい、体育館への階段にエアコンを付けてほしい、1年生達のトイレをきれいにする、大きいバスケットボールをつける、1年中サッカーコートを出す、水道が汚い、全体的に汚い&ふるい

○小説をもっと増やしてほしい、ツーブロック禁止をやめてほしい（青梅市立第一中学校）、テレビが小さい、時計がずれてる、机がグラグラしている、水道がつめたくない、更衣室汚い、シャーパーンok。

○エレベーターをつけてほしい。プールをもっと、きれいにしてほしい。

○エレベーターをつけてほしい

○エレベーター

○いろいろな遊具がほしい。とくにシーソーがほしい

○・校庭をもっと広くしてほしい・校内をもっときれいにしてほしい・給食をバイキングにしてほしい・体育館を広くしてほしい・室内プールにほしい

○・校庭をもう少しだけ広くしてほしい。・学校にエレベーター、エスカレーターを設置してほしい。・校庭にブランコがほしい。・学校をきれいにしてほしい。（教室や音楽室、体育館などを立て直す）・給食をバイキングにほしい。・室内プールにほしい。・地下室を作って欲しい。・食堂で給食を食べたい。

○・校庭の遊具を増やしてほしい・掃除用具を新しくしてほしい・ちょっと教室をきれいにしてほしい

○・学校のプールを室内プールにしてプールにいっぱいはいれるようにしてほしい。・学校を建てなおしてほしい。・給食の種類を増やしてほしい。

○・一輪車が欲しい・クラブや部活を増やしたり積極的にやりたい

○遊具をもっと増やしてほしい。教室をもっと広くしてほしい。

○机の端っこに手がかすれた時に、木の破片が手に刺さるから修復してほしい。

3 中学生保護者調査

問 24 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。

保護者の皆様の御意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

○部活動の種類が少ない学校があったりするのは、とてもかわいそう。色々な種類の部活を選べた方が学校生活が充実すると思う。1学級しかない成績がいいのか悪いのかわかりづらいので、もっと勉強すれば伸びる子も環境でやらなくなりそう。

○通っている近隣で言うと、新町小と青梅3小は生徒数が多く、藤橋小の生徒数は少ないようなので、通学区域の見直しをするともう少し均等になるのかも感じます。

○青梅市は広い為、学校数も必要だったと思う。しかし人口減少に伴い子どもの人数も減少したり地域的な偏りが目立ってきている。クラス数が多い、少ない学校それぞれで良い所、悪い所が

○時代が変われば、学校教育も変わっていくものだと思います。ある程度の生徒数がないと学校として成り立つのは難しいのかなと考えます。施設も老朽化が進んでいます。学校は避難場所にもなります。すぐに決められる事ではないけれど、統合も視野に入れて検討する必要があると思います。スクールバスがあれば通学面の安心があります。

○校舎が古い学校が多く、気持ち良く教育を受けられる環境では無い学校が多く見られる。特にトイレ等は改修してある所はあるが、まだまだ古く汚いトイレは多々あり、良い環境とは言えない。エアコンの環境は整っているが、予算を気にしているのか？消費電力を気にしてるのか？適切な温度設定にしていけないので、良い環境とは思えない。細かい事かもしれませんが、毎日通う子ども達からすればとても重要な事だと思います。学習意欲も変わってくると思います。早急な改善を望みます。学校の建て替えも

考え設備環境を整えた上での学校統合はとても良いと思います。

○学校統合は少子化なので、仕方ないでしょう。小学校は通学時間に配慮が必要なので、少人数でも家に近い方が良いと思われませんが、中学校になるとある程度の生徒数でいろいろな友達と交流できるようにした方が良いかと思われま

す。

○学校の統合は総生徒数が減少した学校については必要になると思います。ただし、廃校にした学校に関しては、その後の活用を考えなければ、ただの廃墟と化して治安悪化の一因になるので、廃校にした建物についての活用は考えるべきです。例えば引きこもりの子どもたちが単位を取得できる小中一貫の寮生活が送れる学校や、いっそ思い切って多床対応できる特別養護老人ホームへの転換を図るなどです。間の中にありました、特別な教育を施す学校というののも良いかもしれません。ただし、この場合に於いては都内だけでなく日本全国どこのお子さんでも受け入れるような学校にできて、将来青梅市に住みたいと思ってもらえる子どもたちを育てて、10年後以上のちの人口増加対策も同時に行うことが、より望ましいと考えます。

○学級数が1以下ならば積極的に統合すべき、クラス替えができない学校は生徒へ悪影響がある。例えば嫌いな人と離れられない。自分から新しい友達を作る機会が失う。また高校など進学先の人数が多すぎて適応できない。

○一学級しかない学年は、クラス替えがなく、つまらないし、刺激がないと思われます。

○クラス替えがないと人間関係が固定化して、とても大変。1学年最低2クラス必要。できれば3から4学級あった方が、行事やクラス替えがやりや

すいと思う。あとは1クラスの人数が多すぎるから、中学2、3年も35人以下、できれば30人以下にしてもらいたい。学力向上につながると思います。

○クラス替えができない、運動会を少人数でやる等厳しい現状が見受けられます。統合するとしても皆がどこの学校にでも行けるようにバスやスクールバスなどの充実を図り、車がない子は行けないなどということがないような配慮をして欲しいです。また、どこの学校もトイレやプール等学校の設備をキレイにしWi-Fi等もきちんと使えるようにして欲しいです。どれも中途半端な状態です。プールや体育館のトイレなど、まだまだ古くてビックリする所がたくさんあります。青梅は全体的に学力も低く、部活もあまり活気がなく閉鎖的に思えます。スポーツ施設の充実、その場所へ行くための交通機関も整えられると他の地域から人も呼びやすくなると思います。青梅はとにかく不便です。市内で働く人も少ないと思います。理想は青梅市で働く若い人達が増え、子ども達が増え、学校教育が充実して行けば…と思いますが、市民センターもボロボロ、学校もボロボロ、車がないとどこにも行けない現状では教育現場だけ充実を図っても仕方ないと思います。青梅に住みたい！と思えるように、空き家を減らして若い人達が安心して住める街作りを望みます。

○子どもの人数がどんどん減っているのを実感しているので、学校の統合は前向きに検討すべきことだと思います。

○統合で通学に不便を感じては欲しくない。また母校がなくなる寂しさもなるべくなら避けて欲しい。子どもの数が減り学校を存続することも大変だと思うがなるべくなら母校と思える場所を減らして欲しくない

○通学時間や手段を考えると統合しない方が良いと考えます。ただ1クラスだと友達関係で何かがあった時に逃げ場がなくなるので、1クラス辺りの人数を減らしてでも2クラスにし、少人数制にした方が学習面からも良いのではないかと思います。

○小・中学校があることは、その地域の存続に欠かせない大切な要素だと思います。なくしてし

まうより、どうやったら残せるかを検討してほしいです。広域であることを活かして、逆に小規模校を増やすのも面白い特色になると思います。老朽化した建物を建て替えるなら、修理しながら何百年も使い続けられる木造建築で、多摩産材を使い、定期的な修理も地域の土建屋さんで賄えたら最高です。

○学校選択する上で、2クラスあること。ここが地域の学校選択の決め手となりました。もしも人間関係における不都合が生じた場合、回避できるからです。そのちょっとした抜けが我が家では学校に求めた必要優先事項でした。ご参考になれば幸いです。

○できるだけ自宅から近く通える範囲内で教育を受けられるように配慮して欲しい。

○こちらの地域はもともと学区が広いので統合は難しいと思います。通学が大変になるのは一番避けたい事です。

○7小・6中はどちらも小規模校ですが、既に小学校内での縦割り班活動や小中合同のイベント活動がある為、学年を跨いだ繋がりが強く、また自然豊かな環境があり地域との交流も多いことで、素直で思いやりがあり何事にも全力で取り組む生徒が多く育っています。地域の防災訓練では、6中生徒が避難所開設を行い、地域住民を受け入れる訓練もしていて、小中学校と生徒が地域の防災拠点として重要になっていて、地域と学校との結びつきがとても強いです。そのため、7小・6中を存続させるよう検討していただき、必要であれば小中一貫校にする形で検討してもらいたい。

○統合や学区の見直しなど行った場合には、無料のコミュニティバスやスクールバスなどを走らせることを検討してください。今回のアンケートとはズレているかもしれませんが、部活動をやりたい子がいるのに廃部にする、地域移行を進める…というのは現実的ではないように思います

○通学路の確保

○中学校に自転車通学ですが危ない成木街道はダンプが多く時々子どもたちは危険な目にあっていく。大人でも怖いぐらいなのに。マイクロバスを青梅市で用意してほしい、有料でもいいか

ら。毎日の通学はものすごく心配です。ご検討していただけたけると幸いです。

○子ども目線、保護者目線、教員目線でもそれぞれ異なると思う。保護者の意見を問うこの様なアンケートは、今回必要だと感じた。日々、思う所はあっても市役所に意見を届ける…とまで行動につながらないので。しかし、保護者は小学校6年間、中学校3年間で我が子が卒業してしまうと次の事柄に目が向いてしまうと思う。通学区域を可能な限り広げて統合して距離が出てしまう生徒にはスクールバスで中規模学級が拡がると、大規模、小規模では体験する機会を無くしていた事が市内の子ども達に、平等にその機会を与えられるかと思う。が、やはり各家庭の考え市の実状もあるので難しい。西中学校では部活数にかなり制限があり子どもが本当はやりたかったスポーツを部活で出来ない現状があります。学校の統廃合の前に、部活面での校区を越えた合同化も必要なのではないかと思います。(現状、簡単に部活だけ他の学校へ行くことはあまり一般的ではありません。)

○生徒が少ない事も問題だが中学生が40人一つのクラスにいと、狭いし参観など親がどこで見たら良いのかわからないくらい。学力も塾頼みだし行き届いていない感じは多々ある。

○人がたくさんいる地域は(一学年に1クラス作れるのであれば)統合の必要は今のところないのではと思います。ただ、どうしても教員確保や施設管理や補修等の市の予算などから統合しなければ財政困難というのであれば、統合した学校にスクールバスを配備するか、スクールバスが難しいのであれば地域のバスを通学に使える補助などしていただけないと生活が厳しいと思います。共働き世帯は毎日の送迎が難しいと思うので。今すぐできるのではないかと思う対策は中学生であればヘルメット義務での自転車通学の許可も考えて頂けるといいかなと思います。一例で申し上げますと、部活動で再登校する場合の話ですが、新町在住でも学校まで徒歩で片道30分強かかると往復一時間になり、そこから部活をしてまた帰宅する事は暑い時期は特に熱中症なども危険です。自転車の事故を防ぐ為にも年に一度の自転車講習会などを授業の一

環として開催して、安全に正しく使用出来るように取り組んでいただけるとありがたいです。小学生の場合は保護者の送迎が大変になると思うのでやはりスクールバス又は地域のバスの利用補助があるといいと思います。バスの利用補助と言っても、半額免除ではなくて通学時のみ(登下校利用)を対象とした児童生徒用バスや電車のパスカードなどを発行して市内のどこに住んでいても通学出来るようにしてはどうでしょうか?青梅市内どこへ住んでいても子どもが学校に行くための交通手段がある事は共働き世帯は特にありがたいと思います。何より第一に子どもが安全に学校生活を送れるための対策があれば統合してもいいと思います。

○上記に書きました通り、統合することによって生じる通学時間がかかってしまう恐れがあることが一番の懸念です。子どもの足で、30分以上かかる距離にあるようならば、幼稚園や、アメリカのようにスクールバスがあると良いのではないかと思います。

○小規模校はそれぞれの特色に特化し、小規模特認校指定などを受け、生徒の多いことで摩擦が生じていたり、学区内での人間関係や、発達グレーゾーンの生徒等、の受け皿として維持すべき。近隣の小規模特認校からの転入生も楽しく通えている。学校へ行けなくなったら行かなくても良い、自由だという風潮に有るが、画一的条件の学校にすることで学校へ通える可能性が失われる。公立校へ通う家庭は共働きも多く家庭に一人でいる子どものケアも難しく引きこもりにつながってしまう。学校の選択肢は多い方がよいし、民間では費用もかなりかかり益々親が子どもへ関わる時間が減るという。学校は社会に繋がる足掛かりであるべきだと思うので、大人の都合で作った施設に入れる生徒だけを押し込めるのは教育に関わる人間が求めることではないのではないかと?全ての学校が画一的で効率重視であることを求めるのは、多様化を子ども達にうたう立場としてナンセンスだとも思う。保護者としては、発達グレーゾーンの娘が普通クラスで自信をもってがんばって物事に取り組めているのは小規模でアットホームな学校だったから。人数や教育に物足りなさを感じた

息子は中学受験をした。出られるものは勝手に出ていく、出ていけない立場の受け皿があることは大変ありがたかった。

○子どもはもちろん、教職員、保護者等関係する人の誰かが我慢をしたり無理をするのではなく、施設等物的環境を大きく変えることを念頭においていただけたらと思います。そのことで雇用が増えるとなお良いと思います。

○子どもが不利益を被らなければよいのではないかと思います。

○在学中の子どもたちが困らないように、保護者の意見を聞きながら、検討してほしいです。

○学校毎に人数に偏りがある事は知っていました。通える範囲である程度、学校を選択出来るようにして欲しい。いじめ等の問題や、一人一人への教育が雑になってしまう事、何よりそれは先生方の負担が増えることによる物もあると思います。少人数の学校には憧れます。○学校事に学力が違うのを、なんとかしてほしい。人数が多いと学力の差があり、塾に行かないとになってしまう。

○学校の建物自体が古いから 耐震補強してても何かの時不安

○学校が遠い場合、スクールバスが必須だと思います。

○駅から、学校までの距離がある。電車の本数が少ない。電車が遅れる事多い。スクールバスを往復1~2本だして欲しい。

○安全な通学路を確保して欲しいと思います。歩道がなく、路肩を通学しなくてはならない通りなど、朝は車の侵入禁止になっていても、帰宅時が危険に思います。

○より良い教育環境の構築が、統廃合を視野に入れることへ何故つながるのか、その説明を広く、詳しく多世代に向けて実施開催せずに、このアンケート調査で終わらせてはなりません。予算、維持費等の都合はしっかりと確保し、学習環境は守ってもらいたい。通学手段の支援策の提案も頂きたい。そして暑さ対策、寒さ対策の施設工事は必須です。

○そもそも、国の定める一クラスの人数が多すぎる。市街地の学校であっても、青梅市独自の少人数制クラスにして、大人(先生)も子どもも余

裕をもって学校生活を送ってほしい。空き教室があるのに、ひとつの教室にギューギューに入れるのはお互い息が詰まる。せっかくなかの学校なのに。

○子ども達の小中学での集団生活から得られるものや、学びの環境は、将来を左右することもある、かけがえのない大切なものだと思います。人間関係の固定された中では、多少なりそういった経験は制限されてしまいます。しかし統合により、恩恵を受ける子どもばかりなら良いですが、中には環境が変わることでストレスを感じる子どももいるかもしれません。統合が必要な地域に暮らす子どもというのは、全体的に見ると少数だと思います。当事者となり得る子ども達の心にしっかりと寄り添っての改変であることを、真に祈ります。

○クラス替えが出来る規模の学校が望ましいが、通学距離が遠すぎてしまう生徒が心配。

○オンラインでの合同授業等が成立するのなら青梅市民にとって良い事なのではないかと思えます。生徒一人ひとりが教育を受ける事の大切さを理解した上でない義務教育期間には難しそうですが、しかし、中学生なら可能であることを願います。コミュニケーション面ではやはり、オフラインでの交流を定期的に持つことも重要ですね。

○自転車通学の許可の見直しをした方が良いと思います。子どもの特性や、やりたい部活、引越等し等を理由に、学区外の学校に通学を希望する人もいます。距離ではなく、地域によって自転車通学ができたりできなかったりするの、不便で納得がいけない。指定された学区より隣の学区の学校が近い場合もあるので、この中学はこの地域…ではなく、学校からの距離で決めてはどうかと思う。

○現場にはやる気のある先生もたくさんいらっしゃいます

○制服や体育服の指定(色等も含め)をなくす。少子化やSDGsに削ぐわず、統合の妨げの一因にもなりがち。

○教室での授業を受ける環境の整備は当然必要ですが、スポーツが充分できる環境特に広さの確保がにも配慮して頂きたい。

○教師の質に不安がある

○我が子の体験から考えてとにかく大きく影響するのは勉強よりも人間関係です。自校や他校の子達の話がたくさん聞いていますが、クラス替えも出来ないと離れたい子と離れられない。クラスが違っただけでかなりしんどい友達関係も和らぐので学年で数クラスは欲しいと思います。色々な子達と触れ合ってほしい。少子化でクラス数が減るのは目に見えてるので、2学年を一緒にするでもいいですし、他校と統合してクラス数を増やすのは必要だと思います。とにかく同級生数人だけのうちの学校生活はきついと思います。特に中学生は要注意です。今現在も我が子のお話を毎日の様に聞いていますが勉強よりも友達関係です。社会問題になっている不登校、自殺、も理解出来てしまいます。大人数の中で逃げ場を作ってあげたらいいと思います。

○何も変わらないし期待もしない。地元出身の教員を配属しないでほしい。教科書の無駄な多さ、荷物も多いのでペーパーレス、SDGSを意識するなら早急なタブレット導入をお願いしたい。そして、青梅市特有の部落のような考え方を新しい風を入れて一掃してほしい。

○Q21の回答そのもの。インターナショナルスクールのような学校だったら、興味深い

4 中学生本人調査

問 6 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。皆様のご意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

○統合は少し寂しい気持ちもありますが、より良い教育環境という視点だとそれも一つの選択肢だと思います！頑張ってください！！

○青梅市内の全学校を一つに統合すれば、様々な考えを持つ人たちと共に過ごすことができるので、そのほうが良いと思います。

○今のクラス10~20人くらいの少人数の小中学校がもっと人数を多くしてほしいなら学校の合併をしても良いと思う

○学校を統合して生徒が増えれば行事ももっと盛り上がり、より楽しくなると思います。

○学校を1つにまとめたり施設をきれいにしたい

○とても人数が少なく、生徒が増加することもないと思うので統合したほうが良いと思います。

○コミュニケーション、学校行事も人数が多いほうが楽しいし、学校に行きたくなるはずなので大きければ大きいほど良いと思います。

○良いと思います。

○統合はしなくて良い

○統合はしなくてもいいと思う。今の状態がとても安定しているから。

○統合を視野に入れるのはいいと思うが、そうなった場合登下校の時間が長くなる問題を考えてほしい

○統合を考えるのは仕方ないとは思いますが、もしそうなれば更に学区が広がり御岳山の生徒や私のような電車通学者にとっては通学などに支障をきたすのは明白です。どうかのこしてください。

○統合しないでください。なぜなら、人数が増えるとストレスも増えるからです。

○絶対に嫌です今のままでいいです

○人数が少ないからこそ授業では集中して気軽に質問できるから統合には反対です

○人数が少ないからこそできる活動をもっと増やしてほしい。

○自分がお世話になった学校が廃校になってなくなったら悲しいから人数が少なくても廃校にしないほうが良いと思う

○学校統合は生徒への負担もあるため、なるべく慎重にしてほしい。

○学校統合したら荒れる。指導する先生が統合しなくても足りてないし足りなくて指導しきれないし統合しなくてもいい

○学校の統合はあんまり良くないと思う。理由はやはり地区ごとに学校があるから近い人はいいと思うけど遠い人はその学校ともう一つの学校が統合されるとして学校が遠すぎて登下校が難しい人も出てくると思います。なので学校を統合するくらいなら都内の人たちに青梅に来ませんかなど声をかけてみたり何かしらのキャンペーンをしてみたりしたら青梅の人口が増えそれに乗じて子どもの数も増えて学校が廃校になったりすることもなく、青梅市が繁盛するために一石二鳥だと思います。なので僕からの意見としては学校統合は最後の選択ではないかなと思います

○学校の数を増やして、通学の際の負担を減らしたい子のサポートになれば良いと思う。

○学校が遠くなったら困ります。

○一つの学校における生徒数が多くなるのは好ましくない

○このくらいの人数がちょうどいいので統合はしないでほしいです

○特にありません。今のままでいいと思います。

○統合の際コミュ障等の人のことについて考える、障がい者クラスを設ける等なら賛成です

○誰かが金を払って新しい学校を作るのは無理だと思う、それなら今中学校で使っていない教室などを小学生が使うのはいいと思う、無駄もないしね

○小学校と中学校の校舎の区別はつけてほしいと思いました。

○今のままで大丈夫だ 問題ない

○今のままでも十分だと思います

○学校を統合するのであれば、統合するであろう学校とそれなりに交流を深めてからがいいと思う。統合する前の年にその学校となにか行事をやるなど。突然今年から統合します、と言われてもどういうふうに関わっていけばいいかわからないと思う。

○学校の統合

○学校統合。校則厳しすぎ。校則古すぎ。

○一クラスの人数が40人と多すぎる。クラスを多くしてほしい。グラウンドが小さくて野球部と陸上部がいつも接触して危ないし邪魔

○チャリ通学を有りにしてほしい。私は歩いて30分ほどで学校につくが、自転車だと15分で行くので、朝勉強したり、睡眠時間をもう少し取れたりするから。

○このままでいいと思う

○クラスの人数が少し多いかなと感じる。通路が狭くて、後ろにあるロッカーも取りづらいし、机にかかっているカバンで怪我した人や、引っかかってつまづいてしまった人もいる。1クラス30人程度でいい気がする。

○いまのままで満足です

○1学年60人くらいにしてほしい

○部活動の他校合同練習試合を増やしてほしい。

○部活動がなくなるならないように。大人の人を誘うとか。

○部活を増やす。お掃除ロボットの導入。給食にデザートを毎回つける。

○不登校の人たちへもっと配慮してくれ。

○髪型の自由 スマートフォン所持

○他の学校同士で遊んだりしたら面白そう

○青制服をなくして欲しい。

○青梅市では1人1台タブレットが配られているが、先生や生徒に注意されているのに授業中にタブレットを使う生徒がいます。何か解決策を考えるべきだと思います。

○小学校のころGoogle Meetでクラス全員が学校にアクセスしても大丈夫かのテストをしたがその後一切使うことなく中学生を終わろうとしています。それ以外にも学校でGoogle Chromeを使う機会は週に何時間かしかなく、もはや何のためにあるのかわからない、何なら小学生の時の方が使っていた「クラスルームに入れておくから見ておいて」と言われても自由にパソコンを見れるわけではない「家で自分のパソコンやスマホで見て」何て言われたりもするがそれならなぜChromebookが配布されているのかわからない授業でも全然使わないまともに使うのは音楽くらいでなぜ他で使わないのか理解ができない。せっかくお金を出して一人一台Chromebookがあっても使わないのなら意味がない青梅市の中央図書館のWi-Fiを使おうとしたがメールが使えないためWi-Fi使えないというかログアウトしている状態じゃないとログインのページにすら行けない別でメールアドレスがないと使えないのならもはや要らない。統合も大事だかもっと小中学生に意見を言う場を作って意見を手紙や直接聞きに来るなどしてからやるべきだと思う順序が違うと思う本当に統合を考えるなら回数があまりにも少ない不便に思っていることはもっとたくさんあるしっかりしてほしい。

○小学校で英語教育をもっと力をいれてほしい。

○子どもたちの経験のため野外活動を取り入れてほしい

○今の時代はゲームやSNSで生きていける時代です。なのでそれに特化した学校、または勉強とゲームを合併した学校など作るのはいかがでしょうか。先程とは別に不登校生徒が行ける高校や施設を作ってあげるなども検討していただけると幸いです。

○学校の改造は、外見じゃなくて中身もやって欲しい

○街灯が少ないため、もっと増やしたら安全だと思う

○意義なし

○もっと周りの人と交流を深める必要がある。

○もっと細かく意見調査などをしてクラス替えをしてほしい。元々中の良いグループが多くあるクラスであると他クラスに中のいい子がいる子が不憫。

○もっと給食豪華にしてほしいです

○もっと給食を豪華にしてほしい

○もう少し外で遊ぶことを習慣づけた方がいいと思いました。なので外遊びをしたくなるものなどを検討してほしいと思いました

○ノートパソコンの無償貸出はいいと思いますが、もう少し規制を緩和してもいいと思います現在のノートパソコンは規制が強すぎて調べたいことが調べられないという事がよくあります。もちろんゲームや、少年法に触れそうなものは別とします。ただのサイトも見れないのはあまりに自由度が低いと感じます少し規制を下げるなどしてほしいです。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

○クロームブックにマイクロソフトのアプリを入れるべきだと思う。

○1クラスの人数を少なくするなど、私のようにあまり大人数が得意ではない子も過ごしやすいようなクラスの人数規模にするのも視野に入れてほしい。

○理科室の冷房。すべての教室を平等

○部活動の楽器の費用を市で出してほしい。メンテナンスに出してもまた、修理に出すばかりで繰り返してしまっているから。

○部活動の楽器の購入費用を出してほしい。

○中学校でも勉強に集中できる自習室を設けてほしいと思う。→家では勉強に集中できない人がいるかも知れないから。

○体育館の冷房を強くしてほしい

○体育館のエアコンを増やしてほしい。北校舎のトイレもきれいにしてほしい

○体育館にエアコンつけてほしい。校庭にライトつけてほしい

○体育館が暑いので冷房を増やすかもうちょうと温度を下げれるようにしてください。

○体育館が暑いので冷暖房を設置してほしいです。

○全部の教室にエアコンを付けてほしい。

○西側のトイレをきれいにしてほしいです。

○水泳部か市内に室内プールが欲しい

○自由に自分たちで自習ができるような教室をつくる。

○今学校で使っている黒板ですが消すのも大変だし消したりすると服とかも汚れるし、それにしっかり消さないと前の授業のが残っていて次の授業のがわかりにくいから、ホワイトボードなどに変えてほしい。

○今ある古いものを新しくしたほうが良い

○校庭を人芝にしてほしい。体育館をきれいにしたい。プールをきれいにしてほしい。机をデカくしてほしい。冷水機をもう少し設置してほしい。ナイターを設置してほしい。外観をきれいにしてほしい。壁当てがほしい。もっと日陰を作してほしい。マウスを配布してほしい。

○楽しく過ごせる学校の環境作りが望ましい。

○学校を綺麗にしてほしい（トイレとか）

○下駄箱をもっと清潔に

○椅子や机を新しくしてほしい

○トイレにエアコン

○クーラー

○1 プールをきれいにしてほしい。2 教室をもっと広くしてほしい。

○・部活動にあてるお金を増やしてほしい・体育館のエアコンが片方しかついてないのもう片方もつけてほしい・環境の整備をもう少し徹底してほしい

○いつもありがとうございます。楽しく学校に通えています

5 未就学児保護者調査

問 20 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。保護者の皆様のご意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

○良くも悪くも、人数が少ない小学校は個性が生かしくいのではないかと感じます。なるべく生徒数は均一化し、交通手段が難しい場合はスクールバスなどが出ると良いと思います。その上でこの小学校にも特別学級や学校に通うのが苦痛になってる生徒へのカウンセリング、オンライン授業などが今の時代あっていいのかなと感じます。

○複式学級は十分な教育を受けるのが難しいのではないかと懸念します。1学年1学級については、それなりの良さがあつて特段否定する気持ちはありません。懸念されるのは人間関係につまづいたときにクラス替えができないことです。同じメンバーで6年は、著しく関係が拗れたり、好ましくないと強く感じている場合にはあまりに長すぎます。この時に、転校の選択をごく気軽にとれると安心です。そのために小規模特任校も複数あつて、選択できると良いと考えます。Q21で「美術・音楽」を選んだ理由ですが、ICT・英語・心の教育は全ての学校で力を入れるべきもので、特色となり得ません。スポーツ・理数は、市街地の子にとっては、遠くの学校に通うよりもスポーツクラブや学習塾などの選択肢があります。その点、青梅の豊かな自然は芸術分野と相性がよく、たとえば美術であれば特別な課外授業ではなく日常的に写生に出てゆくなど、都会ではできない様々な試みを実践できるはずで、この分野のさらなる習熟を求めている子どもにとって、通常学級の図工と音楽の授業は圧倒的に時間が少なく物足りないものです。ここに特色があれば、市街地の特定の子も時間をかけてでも通いたいと思える魅力となるのではないのでしょうか。学習や人間関係につまづきのある子が編入する際にも、とっつきや

すいのがこの分野ではないかと思ひます。青梅の文化・歴史や自然科学と芸術を絡めていけば、他の教科も置き去りにせず、のばす方法はあると思ひます。

○地区によって世帯数や子供数に偏りがある。学区については見直す必要があるのではないかと。担任も複数制にし授業を進める先生の他に生徒の様子を気にかける教員などを配置し、子供達を見てもらいたい。

○前の問にも回答しましたが、やはりクラス替えがあることは、新しい友達づくりに繋がり、新たな価値観や関わり方が持てて良いと思ひます。小曾木方面や青梅駅より奥多摩方面などは、統合した場合に近隣の学校がどうしても遠方になると思ひます。その場合には通学手段も親の協力が不可欠になると思ひます。致し方ないことかとは思ひますが、子供の安全を第一に、地域で子供達を守りつつ統合する必要があると思ひます。

○人口が減少していく中、国際社会(競争社会)で生きていく為には、多様性を認め自分の個性を伸ばしていくことが必要になると考えています。幼少期から様々な生い立ちの人と関わることで多様性を養い、集団生活の中で自身の特性を発見出来る環境であつてほしい。その為には、最低でも2クラス以上は必要と考えています。

○少人数となっている学校については統廃合を進めるべきだと思ひます。仮にどうしても残したいのであれば、市として子供を増やす施策を真面目に考えてやらないといけなひ。青梅市に魅力がないから若い人が入つてこないと感じる。

○子どもの数が減つてゐるため、学校の統廃合はやむを得ないと思ひます。ただ、統廃合した場

合、子供の数が増え一人一人に目が行き届かなくなることはないようにしてほしいです。

○校舎や設備の劣化など進むと思うので、いずれは統合も必要だと思う。徒歩30分以上かかる場合や、山道などで徒歩が難しい場合はスクールバスがあったほうが良いと思う。ただ、他校でトラブルなどあり転校したい子どもや、少人数の方が安心感を得られる子どももいると思うので、一校くらいは特認校として残してもいいと思う。

○学校の統廃合は已む無しとは考えますが、子供に取って大変なストレスになる大きな変化です。子供が安心して楽しく通える環境を整え万全の体制を期して欲しいと思います。青梅市は過去にイジメ問題の対応に後手に回るなど教育委員会に不信感があります。これを払拭するためにも開放的で風通しの良い環境作りが必要かと考えます。

○一学年に一学級ずつとなっている学校は最も近くの学校と統合して教職員の充実と、子供たちの社会性を育み高められたらいいと思う。廃校になった学校は老朽化が激しくなければそのまま地域のコミュニティの場所にする、青梅市の観光名所のひとつになるような取り組みを実施できる場所にするなど考え有効活用する。老朽化が激しければ更地にし大型商業施設などに利用できるよう売却。青梅市に人の流れを作るようにする。

○そもそも学校予算が少なすぎる。施設の維持もままならない状況で、小規模学校の維持にこだわる必要はないかと思う。小規模学校を維持するなら、各学校の成績上位者を集め、保護者が関心を持つ学力向上をはかる学校にするなどして欲しい。都心部と比較しても、学力の低迷は深刻かと。

○6小と5小は統合した方が良いと思います。まず、6小の人数が少なすぎる。「少人数だからきめ細やかに指導してもらえる」と言う人もいますが、実際はそういうわけでもない。理由は教師の資質によるからです。少人数であれば、楽しようと思えばいくらでもできるので、きめ細やかに見ていなくても仕事が一か所から二か所である。むしろ、3クラスくらいあった方が、いろいろ

んな先生が学年全体を見る事ができ、教師の仕事もお互いにフォローしながらできるので、逆に職場環境、労働環境といった面でもメリットが大きいと思います。子どもたちにとっても、人数が少ないことに良いところもあるが、40人とはいかなくとも多様な考えをもった人たちとともに生活する事の方がメリットが大きいように思います。そして、中学校へ進学すれば5小と6小に通っていた児童は1つになるので、小学校のうちから統合しておけば、中学校は向けた一貫的な指導もしやすくなると思います。こういったことから、5小と6小は統合して各学年3クラスにするのが良いと思います。

○・学校が清潔で安全な通いたくなる環境であってほしい。・1年生のはじめのうちは保育園と同じくらいの先生の配置があるとよい。・一学年が一桁のような学校は、社会性を学ぶ機会が減ってしまうので統合は良いと思う

○小学校教員をしている者ですが、小規模校での人間関係の狭さを見て、あまり良いとは思えません。より良い人間関係の構築や、行事の実現を考えると2クラスにはすべきと考えます。また、自然が多い特色を生かした教育ができると良いと感じています。

○大きな小学校で先生の目が届きにくい環境よりも、小規模な学校でしっかりと面倒を見ていただきたいと思っております。上の子が新町小学校に通っていますが、攻撃的な子が多くお友達トラブルが絶えません。

○ある程度の人数の方が先生方の負担も少なく、安心して子供を学校に通わせることができると考えております。

○人数が少ければ、繋がりが深まると思う。統合によって学校が遠くなったらかわいそう。

○学校が統合されると通学距離が増え心配や負担が増える。学区が変わり広くなると放課後の子供たちの時間が不自由になる。少人数の良さがあるのでそのままの環境を残して欲しい。大人数の方がメリットがある行事や活動があれば他の学校と合同で行えば良いと思う。子供に合わせて小学校を選択出来るので今のままがいい。

○7小6中では地域との結びつきが強く、避難所開設訓練は6中の生徒が中心になり行っています。他

にも小さい学校でも行事に対しても学習面でも一生懸命に取り組んでいて感動する場が多々あります。人数の少ない学校ですが、一人一人が力を発揮しとても良い学びができています。地域の方も子供達を応援してくださり結びつきが強いです。そんな地域の学校をこれからも残し地域、子供達でいろいろな行事に取り組んでいきたいと思っています。

○・学区について 家から見える距離にある橋向こうにある学校ではなく、バス通学になる学校が学区のため、学区外入学を検討して申請しました。(申請方法もとても簡単で、職員の方もわかりやすく・真摯に相談に乗っていただけたと感じます。) 周りにも、近い方の学校がいい…仕事の関係で実家に近い学童がある学校を検討している(または、兄弟ですすでに通っている)…という家庭もあります。仕事をしている・学童を利用する家庭からすると「現学区の学校までお迎えになると延長になってしまう…」「仕事をセーブしないと…」と言う声を聞くこともあります。また、距離的に近いのに、と疑問に思うところがあります。昔は橋がなく、通学できなかったということは聞いたことがあります。しかし、現在は橋も整備されている中で、なぜ学区が未だに徒歩圏ではなくバス通学になっているのか…と疑問に思うことがあります。ホームページから、住所を入力してどの学区かを知ることではできませんが、その学区をどのように設定しているのかをわかりやすく提示してほしいです。・統合について 統合することによって、職員や先生方の確保はしやすくなると思いますが、利用する家庭によっては不安要素が増えることも考えられると思います。全学年合わせて両手で数えられる…となると統合したほう(経営や運営の観点から)がいいのでは?と感じ、1クラス10人前後でも統合は考え直してほしいと保護者の目線からは思います。

○統合を検討しているのであれば、単純に近接しているからという理由で統合はしてほしくないです。私は、吹上小の評判を聴いて市外から移住してきた者ですが、もし人数が少ないからという理由で3小と合併されるのであれば反対します。授業がきちんと行われているのか、実態

を把握し、教師同士が切磋琢磨して指導力を高めていけるような環境作りなどをしてから統合を検討していただきたいです。また、支援級の子は少し離れるだけでも通学が大変になるので、そういったご家庭、お子さんへの配慮は特にお願ひしたいです。

○統合はやむを得ない場合は視野に入れていいと思いますが、対象地域が更に人が減ることの無いよう魅力あふれる学校にしなければならないと思います。小学校だけではなく、中学校も繋がっているので連動して考えて行く必要があると思います。

○統合するのであれば通学手段やPTA活動等で保護者の負担をなるべく増やさずに統合して欲しいです。

○統合するのであれば、通学の距離と時間、通学方法をよくよくご検討いただき、こどもの安全を第一に、安心して送り出せる環境を整えていただきたいです。また、人数が多くても一人一人に目が届く環境であってほしいです。よろしくお願ひいたします。

○統合して、保護者が通わせるのに負担になったり、通わせ辛くなると大変な苦労になる。どの保護者にも見合った通学方法があるとよい(スクールバスでもら徒歩でも同等に、スクールバス料金無償化など)。また、大きく危害を加えたり、授業妨害し、授業にならないという事態になっているようなので、そういう子どもたち(線引きが難しいが)のクラスも作ってほしい。または学校で起きたPTSDのカウンセラーなど。ちゃんと真面目に頑張っている子どもが、なかなか授業も進まず学校に勉強しにいてもできず、という状況になっているので、危害を加える子どもの味方にばかりならず、その他の頑張っている子どもに向けての措置も必要と感じる。矢面に立つ、学校の先生方のご苦労もお察しします。上の立場の方、さらにご検討よろしくお願ひ致します。より良い教育環境が整いますようお願い致します。

○通学手段の拡充と安全をお願ひしたい。子供達同士だけでなく保護者同士、先生方間、地域間との連携が希薄にならないでほしい。

○通う人数が減少するから統合を検討するのは大人の都合であり、人口減少を食い止めなかったのは青梅市として何も取り組まなかった事が要因である。また、それぞれの学校によって保護者の評価が異なっていることから、統一された教育サービスを提供していないことの表れである。統合することは様々な観点からも合理的ではあるものの、先述したとおり大人の都合でしかなく、選択できる自由がないことは、万が一子供がその学校に合わなく学校そのものに拒否感が生まれた場合に親としても安心して預けることができない。

○子供が親と共に自由に学校を選択し、学区外でも通える、通いやすい環境作りも必要ではないか。市運営の共通スクールバスの新設、公共交通使用時の補助金などがあると話題にもなる。このご時世、安心がキーワード。子供が安心して通えて、親も安心して通わせることができること。教育環境の整備は自治体の繁栄に最も影響されることは承知されていると思いたいが、何れにせよまずは子供第一優先で何事も考えていただきたい。

○大人数が苦手な子もいます。そんな子たちのためにも、少人数の学校があるのは、とても良いことだと思います。先生たちが大変なものわかりませんが、こどものものしものとき、そんな学校があるのであれば、働く親御さんたちにとっては、助かると思います。統合するにしても、少人数の学科はひとつ残して欲しいです。

○少子化のため学校の統廃合はしなくてはならない場合もあると思います。その一方で、マンモス校になってしまい、学級崩壊している学校もあると耳にします。子供を安心して学校へ通わせられるよう、こちらの問題も早急に対応していただきたいと思います。

○少子化により、将来は学校により統合の必要性も出てくるとは思います。が マンモス校にするのではなく 学級やクラス人数を適正にし、個々に目が届くように、また 伸びのびと 教育が受けられるような 学校づくりを願います。

○少子化が進む一方、支援学級を必要とする子どもも増加していると思います。小学校が減ると

支援学級の子たちが教育を受ける場が減ってしまうとどうになってしまうのかという不安があります。統合や小規模特認校制度の学校が増えても良いと思いますが、支援を必要とする子は入学が難しいと判断されるように感じます。小学校の見学をさせて頂いて、先生方が発達障害や困り事のかかえる子どもたちへの教育に疲弊されてるような印象を受けました。

○少し話が違うかもしれませんが、子供の事件が多い世の中なので通学路をもう少し安全な道に整備したり、帰宅時間暗くなっても街灯を増やし子供達が安全に登下校できるようにもっと検討してほしい。

○小規模校だけに目を向けるのではなく、多いと言われている3小では近くの学校(今井小)と比べると給食の回数も少なく、授業時間数も少ない。人数が多いというだけで給食が減ったり、学力に差がつくのは納得できない。

○小学校については特に意見はありませんが…中学校の部活の廃部が増えていることが気になっています。サッカーなどは部活がなくなってしまおうとクラブチームしか続ける選択肢が無くなってしまふことに不満を感じています。プロになってもらいたいわけではないのに続けるためには高い月謝を払わなくてはならない。低所得の家庭で育った子が好きなことに没頭できる部活という場を奪ってしまうのは子どもの貧困をより助長していることに市は気付いて欲しいです。あまりにも学校の先生の負担が大き過ぎます。一生懸命頑張って対応している現場の先生たちを見ていて私たちも辛くなってきます。子どもの人数が少ないとか多いとかは問題ではないと思います。どちらもメリット、デメリットがあります。私たち保護者が望むのは安心して通わせられる学校かどうかが一番大切ですのでそちらをもっと重視して欲しいです。

○住民票に登録されている住所の学区区域内でしか学校を選べない制度は、それぞれのライフスタイルがあるので今の時代にあまりあっていないような気がする。表を見ると第三小学校と新町小学校の児童数が他に比べてかなり多いので、児童数をもう少し均等にすべきだと思う。やはり人数が多い学校は荒れていると耳にすること

が多い。子の性格的にその学校に行かせたくないと思う親御さんもあると思うので、学区の縛りを緩くして近隣の学校いくつかは選択できるようにすると良いと思う。

○住所で学区が決められているけれど、自分が通える範囲（公共機関含む）で、行きたい学校を選択できるようにしたら良いと思います。

○児童数が少なく統合を余儀無くされる小、中学校は、自由選択でその学校に通えるようにし、そのためには、その学校の力を入れている事、特色を出さなければという必要が出てくるので、現代のIT教育、英語教育にもより力を入れ、また田舎の特性を生かして、自然教育にも力を入れたら良いと思う。

○具体的な適正化として基礎学力は義務教育期間中にきちんと身につけておき、他は自由課題や受けた授業を自分で選択する単位制がいいのではと考えています。「義務教育で大人になっても使うのは小学校の授業くらい」という意見におおむね賛成しています。実際に不登校の子の80%は20歳時点で進学就職しているので、必要最低限の学力があれば将来を切り開くことはできると証明しています。2100年には総人口が8000万人と推定され、より個人の特性や強みが重視されるようになります。「何が好きで何ができるのか」に答えられないのは仕事を選ぶときに苦労します。また若者の死因No.1が自殺である現状からも、途中で挫折するようなことがあっても勉強ができるだけ、上（親や先生）からの指示に従うだけの子は自活力が低く、社会が変化しても答えをもらわないと自分で新しい生き方を模索できない。子どもたちはネットが発達して私が子どもの頃よりやりたいことが実現できる社会になっています。希望を持って生きてほしいです。

○規模が大きいと交友関係や協力し合う力が育むかと思います。ただ、少人数の方があっている子も中にはいるかと思います。どちらにも良さはあると思います。

○寄り良い教育環境も大切だと思いますがこどもの人数が減っているのなら、もう少し育児しやすい環境を作り若い世代が子供を持ちたいと思えるような体制を整えるべきだと思います。

○学校統合に伴い通学距離・時間が極端に長くなる場合、児童が通える交通手段、例えばスクールバスなどを導入すべきと考える。また、こども達が勉強含め学校生活に集中できるよう、施設の改修や修繕、場合によっては建替をしつつ、地域と連携した学習の時間を設ける必要性を感じる。小学生・中学生共にこどもの数が減少傾向にある青梅市においては、学校の統廃合はやむを得ないと考える。さらに、こどもの数によってクラス数を決めていると思うが、無理矢理2クラスにして教室にぎゅうぎゅう詰めでは、健全な学校生活は送ることはできないと考える。教職員の負担にならない範囲で、ゆとりのあるクラス編成を希望する。小規模特認校制度については、賛成である。各校こどもの数が少ない状況にあるが、特色ある体験や活動を行うことで、他校にない魅力を持った学校に通うという選択肢もあって良いと考える。

○学校により、英語教育に力を入れたり、スポーツに力を入れたり、自主性や個人の特色を出せるような学校作りが必要だと思う。学区にとらわれず、選べるようになれば通学時間は遠くなくてもその方が嬉しい。

○学区によって人数に偏りがあるので、遠い学校に通わなければならないのが心配です。夏がとても暑く荷物も多いので何か対策をしなければ登下校中に倒れる子が出てくるのではないかと思います。遠い子は、バス制度を設けるなど工夫が必要だと思います。人数の少ない学校は、何かその学校による特色（例えば、A校はスポーツ、B校自然に触れるなどの体験豊富、c校は英語など）青梅市はスポーツも強くない、音楽も強くない、昔から何か特色がある地域ではなく、子どもにいろんな体験をさせることは難しかったです。施設の老朽化も酷く、校舎も汚い、校庭も芝生はない。そういう特色があれば転居してくる方も増えるのではないのでしょうか？子どもたちの施設が全くないので、だからこそ人数の少ない学校を活かして子どもたちにいろんな経験をさせることができるようにしてはダメでしょうか？

○課題は多いと思いますが、対応が後手に回ることなく、子供たちにとって最善の環境を提供で

きるように対応していただけるとありがたいです。

○1クラスの人数が多すぎます。先生の目が行き届かず、先生の負担が大きいです。1クラス25人程度になってほしいです。

○青梅の学校、教育委員会は子どものためとは名目ばかりで先生たちの働き方を重視していません。考え方が保護者や子どもに寄り添ってないと感じます。子どもたちのことを本当に考えていますか？今現在の家庭環境はどうだかわかってますか？働く親が増えてます。河辺小は今年度から登校時間を遅くしました。朝の子どもや保護者のこと考えてますか？夏休みも長くなり、登校日も1日もありませんでした。夏休みだからといい、保護者は休みありません。子どもたちは暑い夏に家庭で長い時間、長い日にちどうしてるか考えたことがありますか？土曜授業があると振替休日ありますが、保育園や学童ではありません。働く親は仕方なく留守番させます。学校は教育だけではなくありません。子どもの居場所作り、家庭環境を知るなど、学校でも考えてほしいです。少子化の今、子どもを育てやすい環境を作ることも学校でも真剣に考えてほしいです。

○少人数でのキメ細い指導が子供達にとってより良い学校生活を送ることに繋がるので、現在小学校は35人以下の規定となっていますが、青梅市で独自に30人以下にする制度を儲けて欲しい。また別件ではありますが、PTA役員制度が保護者にとって負担になっているので、時代の流れに乗って廃止してほしい。

○児童に伴う施設に対して、サポートがあるとより地域活性化も見込まれると思います。※駄菓子屋、遊び場、スポーツ教室など

○支援学校に通う程ではない軽度の発達障害やメンタルの不安定な子供の数が増加しているので、その子供達が安心して通える且つ、様々な凹凸を補えるトレーニングができる学校があれば、統合せずに一校として運営しても市内外からのニーズはあるのではないのでしょうか。統合とは関係ありませんが、昨今の不審者対策やクマの出没などで、子供達が子供だけで安全に遊

びに行ける場がありません。学校の校庭の開放について考えて頂けないでしょうか。現在のどこに行くにも必ず親付き、そうでなければ放置子とみなされる様な風潮で、子供も大人も窮屈な思いをしている家庭はたくさんあると思います。よろしくお願いします。

○公立の小中高一貫校、もしくは中高一貫校を作って欲しい。

○教師の力不足の改善

6 青梅市内在住の17歳調査

問 16 青梅市では子ども達によりよい教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。皆様のご意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

○学校数が多いと、校舎が古くても建て直しの費用を回せないところがでてきたり、設備の差がでてくるといった問題がでてくるので課題かなとおもいます。ただ、矛盾するようですが学校の設備を整えることや学校の統合にお金をかけても少子高齢化の改善はしないとおもいます。子育て世帯への支援(教育費や医療費)を充実させることが一番だと思います。特に、ひとり親や子供がたくさんいる家庭への支援を充実させるなど他の地域との差別化を図る取り組みを打ち出せば、青梅市は家賃も安く住みやすいので子育て世帯が多く移りすむようになるのではと思います。

○学生時代においてたくさんの個性を持つ人と関係を築くことが重要であると思うのでいくつかの学校を合併してより多くの生徒と関われる学校を作った方がいいと思う。

○今後少子高齢化の中で統廃合はやむを得ないと思いますが、事前アンケートで市民に現状や未来の予測、自分たちで考える機会をあらためて与えて頂けるのはとても良いと思います。今回、親子で話し合うきっかけにもなりました。学校規模の適正化を子供や生産年齢人口のみで考える以外に全体として、少子化の歯止めも考える上で、市としての施策も見直しが必要と考えます。今ある市の施策の補助金等、なくすというのは難しいとは思いますが、高齢者の施策の住宅改造の要件の見直しなど必要なのではないのでしょうか。浴槽交換等は介護保険も定着し、デイサービス利用していても交換できることになっていたり、浴槽交換しても数年で自宅で入浴できなくなり、同居家族のリフォームのための交換になっているような現状はないのでしょうか。他市では同サービスがあっても、要件は厳

しいようです。今後、少子化が進むと納税者が減少していきます。今ある制度も費用対効果を考え、見直しし、少子化対策に限りある財源を充てて行く必要があるのではと思います。青梅市全体のバランスを考えて、課を縦断して施策が、時代や未来予測に即したものか、見直しをご検討よろしく願いいたします。

○少子化進んでいく中で私は、学校を統合したほうが良いと思います。なぜなら学校を統合すれば、1クラスの人数が多くなり友達も増え、色々な人とたくさんコミュニケーションを取ることができるので、私は学校を統合したほうが良いと思います。

○身近な事で感じるのは、小学中学高校生たちが、歩行しているときに横並びで歩行し、迷惑である場面に遭遇することが多い。この事を考えると、常識のある行動や、ものの考え方など、学校での指導が薄いのでは無いかと感じる。保護者がうるさいから何も出来なくなっている状況があるのか?、常識のある行動、考え方は基本となるべきものと思うので指導を徹底して欲しいです。こんな事を考えると、授業内容、生活指導を生徒に理解してもらうにはクラス人数は30人以下が良いと思います。人口が減っていくとの事ですが、単純に、出生率が上がれば将来的には、人口減少に歯止めがかかると思います。現段階では、学校の合併を行い、合併された学校の建物、敷地などは、青梅市の人口増加、出生率の向上に繋がるよう、有効活用しなければいけない。住みやすい町とは?住みたい町とは?ここが一番肝心だと思います。

○人数が少ないのであれば統合した方が良いと思う。

○人数が少なすぎると、社会性が身に付かないような気がします。また、友達も限られそう。30から35名がよいと思う

○青梅市立第三小学校と三中を合併

○青梅市立第六小学校の生徒数が減ってしまっている件に関して、柚木町あたりに住んでいる子を行かせることによって、生徒数減少は解決できると思います。青梅市立第五小学校は、梅郷あたりに住んでいる子やその辺りじゃない子も多くいるので、生徒の減少はあまり気にしないで良いかと思います。

○体育祭とか盛り上がるなら統合もありだと思います

○地域が近い学校を1つの学校にする。学校から遠い家庭には無料スクールバスを出して、通いやすい環境を作る。

○統合は賛成です。

○これから子どもがどんどん少なくなる社会において教育の質が問われる中で、小規模特認校制度はとても良い制度だと思うのでどんどん増やして、無くす方向にはいかないでほしいなと願います。

○学校の統合はしない方が良いと思う。生徒数が少ないのであれば、空き教室を別の施設として利用したり、子供たちがもっと身体を動かして学ぶなど、学び方の改革をしていくべきだと思う。

○学校統合する場合の疑問について。学校が遠くなると登下校が大変になるため子どもや保護者の負担が大きくなり、地域間での格差が生まれるのでは。また子どもの見守りや登下校時の安全性の確保、犯罪・災害対策ができるのか。学校施設は地域コミュニティや災害時に重要だと思うが廃校になった学校の建物は残すのか。児童・生徒・教師・保護者・地域住民それぞれの意見を聞いて議論し、市側の方針をメリットデメリットなど明確にして提示してほしい。

○慣れ親しんだ母校が統合によってなくなってしまうのは悲しい。もし統合されても、何らかの形で活用して校舎を残して欲しい。統合されるのであれば、何か連絡をもらって校舎に行くチャンスが欲しい。

○教育環境については私が通った学校は良い方だと思います。せっかく自然の多い環境で学べるのでそれを更に活かせば良いなと考えてます。それと文化を教える事も大事だと思います。しかし学校の統合となると、学校の移動距離がただでさえ遠い子の負担が多くなる事や、他校の子と慣れない、交流にも壁があるような感じが生まれると思います。そして私の意見？のようなものなのですが、いじめについてです。対策や防止をしてもどうしても先生や親の見えていない場で無視や蹴る叩く、陰口、仲間外れ等のいじめが起こっています。「いじめがあったら相談を」と世間体では言われていますが、もし相談したり報告したりすると、いじめられた側からすると言った後に更にまた裏でいじめられるのでは、もっと酷い目に会うのではとても怖くなり言えない、相談できないという子がいます。どうしても簡単には言い出せない環境が子ども達の中にはあります。また他にもこれはいじめと言えないだろうから、言っても解決しない、取り合ってもらえないというものもあります。対応等難しいいじめなのですが、できるだけ子どもに寄り添ってくれる先生、環境(学校だけでないものも)が必要だと思います。最後に再度学校の統合についてですが、私の意見としてはあまりして欲しいとは思えません。利もありますけどどうしても負の面が見えてしまう事や、子ども達のや先生の事を考えると負担が増えないことや一人一人に寄り添える環境等様々な点で変えない方が良いと思います。長文失礼致しました。

○小学生が車の多い道を通る危険性や登下校にかかる時間により熱中症など誘拐などの危険性があるため小学校が1学年1クラスになったりしたとしても僕はあまり統合に賛成出来ないと思います。

○統合ありきの検討には賛同できかねます。

○発達障害等様々な子供がいる中で学校の統合などマンモス校になる様な施策は賛成できません。もっと個々の進度に合わせたきめ細やかな学習ができる環境を望みます。

○・統合も良いが、通学時間や通学路の安全などに不安が残る。統合することで、通学時間が増

えたり、通学路の設定など課題があるのではないか。スクールバスなどの活用も視野に入れて検討してほしい。・夏季に行われるプールの授業について、近年の酷暑の影響で実施できないことが増えてきている。自分が子供のときは夏休みもたくさんプール指導があり、9月になっても授業でプールがあったと記憶している。利用回数も多いならばプール施設の維持にも是と言えるが、費用対効果として実際どうなのか。年のうち1カ月ちょっとの間使うための施設なので、更衣室やプールサイドのコンクリート、屋根のある場所など老朽化が進んでいる。それらをメンテナンスすることもないのであれば、いっそのこと廃止してはどうか。代替として、市内にあるスイミングスクールと提携して、水泳のプロによる指導で教員の負担減、バスによる送迎、温水プールなので季節問わず学校ごとに1年の中でローテーションを組んで実施したらどうか。いろんな方策を検討していただきたい。

○1学級あたりの人数を減らすことで教員は1人1人にあった関わり方がしやすいと思います。また、学級数を増やすことで他学級と関わる機会が増加したり運動会盛り上がりやすくなったりすると思います。

○スクールバスの導入等が出来たらいいなと思います。

○それぞれの家の遠さも考えて欲しい。

○以前、TVで北海道かどこかの小学校が放送されていたが、全国からそこに通わせたくて移住してるそうです。教室には壁がなく、全部が見渡せるようになっていて、全学年に隔たりがない。明るくて清潔感があり、開放的な広々とした空間で、子供達は、自分の興味があることを好きなだけ学び、伸ばすことができる。もちろん普通の教科も学習するが、自分のしたいことや、やりたいことを、自分でたくさんの選択肢の中から選び、探求することでそこに紐付き色々な観点から、さらに学びたい気持ちが広がる。活気にあふれ、子供達はみんな目がキラキラしていた。親が移住してまで通わせたいのが分かるような気がした。あとは、フリースクールの拡充。勇気が出せず、学校に通えない子が、明るく綺麗な空間で、ここなら来たいと思えるような居

場所を増やす。そして、そこには適切な人員の配置が必須。特に、年配の男性は心無い発言を考へもせず発する傾向があるため。少ない人数で、マイペースに、より濃くきめ細やかな教育を望む声もあるので、成木小の様な小規模特認校も必要ですし、ある程度の人数がいて、集団でのコミュニケーション能力や、競争心を芽生えさせ、努力や切磋琢磨しながら生きる強さを学ぶ事も大事。少ないところは、統合して良いと思う。空いたところに、フリースクールをしっかりと作るなどしてほしい。

○遠い児童のためにスクールバスを出したり、公共のバスの本数を増やしたら良いと思う

○学校統合はいいと思いますがスクールバスを用意するなど遠くから通う児童の対策をしてほしいです

○私が住んでいる場所は三中と吹上中のほぼ中間地点で、中学は吹上中に通っていましたが、三中と吹上中はかなり近い場所にありますが、生徒数にかなり差があり、三中に偏っていると感じています。私は学習面では生徒数の少ない吹上中に通っていて良かったと感じていますが、部活動の面では生徒数が少なすぎて部活の種類があまりなく、私も自分に合った部活がなかったため帰宅部でした。そのため、この2校でももう少し生徒数の分散を行った方が良いと思います。

○私が通っていた小学校は人数が少なく、中学校も他小学校と交わることなく同じメンバーでの進学になります。友人との交流やクラブ活動の少なさ等のデメリットを考え、私立中学を受験しました。通学時間を考えると本来なら地元の中学校へ通いたかったです。私の住んでいる小曾木地区は市街化調整区域のため、新しく住宅を建てることができないそうです。その為、若い人はどんどん出て行ってしまい、高齢者ばかりになってしまっています。このままでは過疎化が進み、将来、私達もこの小曾木に魅力を感じる事なく出て行くことになると思います。緑を残す事も大事だとは思いますが、今現在、住んでいる我々の生活の方が大事ではないでしょうか？青梅市役所や東京都の方には是非とも早急に考えて欲しいです。

○私が通っていた中学校では頑なに昔の考えで全てを決める性格の学年主任の先生だったので連帯責任が当たり前でした。そのため、悪いことをしていないのに怒られたり、小馬鹿にされたりして学校に行くのが嫌になってしまったことがありました。また、コロナ禍ということもあり、合唱などの歌うことを授業でほとんどやらずに卒業しました。学校を統合するとどうしても環境を整えることに視野が行きがちですが、現場の先生方がどんなことをしているのか、生徒はどんなふうに感じているのかを具体的に調査するべきだと思います。統合することで生じる環境変化への適応もさまざまなことで生徒をサポートする必要があると思います。

○私は、家から学校が遠く毎日朝早くに家を出て登校をして、とても大変な思いをしていたので、学校が合併してしまうとそういう思いをしよう子が増えてしまうと思います。なので、合併をすることに対しては賛成なのですが、登下校を楽にできるようにスクールバスを出したり、工夫をしていただけると、とてもいいと思います。

○私はこどもが育つ環境に、児童数は関係ないと思っています。何事も適度ではありますが、児童数が多かったから、少なかったからといってその人の人格に影響することはほぼないと思います。教育環境を整えるにあたって、何よりも大事なのは教育の質なのではないでしょうか。一人ひとりに十分な教育を行き届かせるために、今後の政策を決めていくべきだと思います。

○小学生のうちはひとクラス25人くらいにしてほしい。

○小規模特認制度があることをもっと周知したほうが良いのでは？

○少ないと学校行事などは盛り上がりませんが、学年全員の名前と顔を知っていると団結力が生まれそれはそれでいい思い出になると思います。少子高齢化の影響を受けているので多少の統合はあると思いますがやりすぎるのは良くないなと思います。

○人数が少なすぎる学校は統合する場合は、その学校の生徒がストレスを感じないようにすると良いと思う。

○人数はおおい方が楽しいから統合もいいと思うけど、出身校が無くなるのは悲しい人が多いと思う

○第一小学校、中学校については生徒の人数にしておては最適だったと感じている

○統合すると、いろんな地域の子と仲良くできるのは確かにそうだけれども、家からの距離が遠くなってしまう子が増えてしまい大変だと思う。生徒数が少ないことで部活動をできない子がいると思うが、その部分だけでは、むずかしいかもしれないが、統合するのもありだと思う。簡単ではないと思うが、給食の自給率を目指してほしいなと思う。

○統合するなら事故、防犯を兼ねて通学バスで送迎して欲しいと思います。小学生の頃からスポーツ、IT、芸術、理数系、文系などの小さな頃から才能を伸ばせる専科が選べる学校作りもいいと思います。合わない場合の転校もしやすくなるといいと思います。大人になってもほぼ必要のない授業をするより、英語や外国語などを中学校卒業までにある程度話せるくらいまでになればいいと思います。

○統合するのは仕方ないかと思うが、歩いて通うのに統合して遠くなったら学校に行くのが嫌になる。雨の日・雪の日など。タブレットがあって荷物も重いし、夏はものすごく暑いから。

○統合を行うと学校が遠くなったりして通学が大変になります。絵の具などは学校の備品として個人で持ち帰りはしないなど、荷物の負担を減らす工夫が無いと、通えなくなる生徒が増えてしまうと思います。

○保護者が記入しています。霞台中学は4箇所？の小学校からの集まりでしたが、半分の生徒は河辺小からなので、なかなか馴染めない子もいました。また小学校でもクラス数の少なさから生徒同士、先生との関係がうまくいかない場合は逃げ道がなく不登校になる要因にも思えました。保護者も地域性なのか考え方などがまるで違う事もありました。他校の保護者の方から聞いた話や実体験で重要に思えた事は先生の質だと思いました。親身になってくださる方もいれば、マニュアル通りの指導しか出来ない精神的に大人になれていない先生もいて、個性を大事

にしているようで個々を見る余裕もなく、扱い易い子供へと自然に指導している印象を受けました。幸いうちは友達や保護者の方にも恵まれ、子供が性格的に気持ちの強いこともあったので、納得いかない理不尽な時にも家庭で対処してこれましたが、こんなにも周りに不登校の子供達がいることは、そもそもの学校のあり方の問題に繋がるのでは？とも思いました。少人数で目が届きやすいの裏には、逆にその集団に合わなかった時は逃げ場が無いということがあるという危険性も考慮されるべきだと思います。オンラインでは学べない人間関係や、社会性は少人数のクラスや学校では難しいところもあると思うので、本当に難しいことだとは思いますが、他校の先生や生徒同士の繋がり、その子が学びたいものを特化して通える学校など、町内だけの感覚では無く、市全体でみれるような学校のあり方など、従来のような学校への通い方では無い方法にしていけないと難しいと思います。統合をするにしても遠い学校に通える様に色々な学校や病院を周るバスを出し、子供だけでなく一緒に年寄りも乗れて遠方の学校まで通えるなど出来たら良いのでは？と理想論だとしても思いました。基礎となる部分、低学年のうちは近場の学校へ行き、その後は大学のように個々の個性や学びに特化した学校を作るなど、学校が減る分、図書館や公民館なども活用して、先生の数足りないなら年配の方や現役の大学生など、その道に特化した人達に補助に入ってもらうなど、とにかく今のままでは青梅市の教育は遅れる一方になってしまうだろうなという気はしました。またそういった教育に特徴のある市は、少子化の時代、子供を育てる家庭には魅力的にうつる気もしました。

○エアコンない部屋は嫌だった。部活に活気がない。先生のお気に入りかわかるのがいやだ。自転車通学したい。

○ただでさえ物価高、賃金があまり上がらないなど金銭的に大変なのに、学校の制服や体操着、教材費など保護者にお金をとてつもなくかかるため児童数が増えず、減っていく一方ではないかと思われるため、国ではなく青梅市が積極的

に無償化、補助金等をする事で児童数増加、教育環境を整えることができると思います。

○どこの学校にも義務教育の中にフリースクールを作してほしい。特別支援級ではなく、成績に関係なく、出席日数にはなる程度でも良いから学校に通うという事ができるフリースクール、フリースペースが併設されていれば学区内の学校でも行けたかもしれない。普通級でも特別支援級でもない、不登校になりそうな生徒でも自分のペースでドリルなど持ち込み勉強ぐ出来たり、コミュニケーションをあえてとらなくてもよく、適応指導教室みたいに自分の学校に戻れるように指導されるでもない、公立のフリースクールを作してほしい。

○英語の教育はまじで増やした方がいい。全然英語喋れないんだもん。ガチお願い

○教育の質のなさ、先生のやる気のなさが生徒からみてもわかりました。先生の業務を削るのを優先させすぎです。生徒たちから大切な経験をたくさん削ってる気がします。例えば、学校フェスティバル、運動会の省略、プールの授業(命を守るための授業)、遠足、部活(少なすぎ)、授業の内容はほとんど動画を見るだけのものもある(それなら家でもできる)、宿題の少なさなど。生徒と先生の関係が、多くを期待しない・多くを期待させない、浅い人間関係になってます。先生達がかかなり事務的という感じに感じます。意味もなく、ルールだから、なんて言われてもこちらとはしては全く人権すら無視されていると感じる始末です。それは浅い関係だからなおさら感じるのかもしれませんが。そして学校も先生も生徒の気持ちより自己保守ばかりです。何も気持ちを打ち明ける気にもなりません。施設云々より、教育委員会の方たちもっと大切なこと忘れてませんか？

○近年インターネットの普及も相まって、生徒たちの睡眠時間が削られていて早朝からの授業に集中出来ていない、地球温暖化もあり部活動の時間に倒れる生徒が増えていることから、アメリカのようなサマータイム制を導入し、夏季は学校のスタートを午前10時頃にして終わりを4時半頃にし、部活動を7時までとすることを考えていました。そうすることによって日々の睡眠

時間が伸び、また部活動中に体調不良を訴える生徒が少なくなると思います。また、夏季は日が落ちるのも遅いため下校中の危険は少ないと考えました。ご検討頂ければ幸いです。

○子供が、中学1年から3年間不登校でした。学校の不登校の生徒に対する理解が薄く、自宅学習など子供が学ぶ環境と不登校の子供に対する心理的なケアの取り組みや子供が不登校になる原因を調べて通いやすくするなどの対策があったら助かった。子供が学びたい事などを自由に選べる選択肢があって、子供一人一人の個性や適性が伸ばせる取り組みや授業があれば、社会にでてから仕事や人間関係でもう少し楽になるのではと思います。

○私の世代ではいじめが発覚しても大して問題視されず、つらい小中学校生活でした。今では社会問題になり全国的にもいじめ対策に取り組んでいるとは思われますが、それでも痛ましい事件は絶えません。少しでもいじめを減らし子供達のがびのびと教育を受けられるようにこれからも対策を取っていただきたいと思います。

○児童数が多すぎて目を行き届いてるなんて思えません。他の小中学校がどのような感じなのか分かりませんが小中学校生活はとっても大事だと私は思います。そんな大事な機関なのに大人を頼れない、大人への信頼がないという考えになっては行けないと思います。小中学生対象に相談しない側が悪いという意見はおかしいと思います。大人でも相談するのが苦手、できない人も沢山いると思います。子供はそんな物事を重く考えていないと思っている人もいるけれど大人と同じくらい考えてしまっているのが大人が忙しそうにしていたり忙しいと急かしてしまうと相談しづらいいけないと思ってしまうと思います。私はそう思います。なので生徒数が多いと教師の方も忙しくなって自然とそのような対応になってしまうと思います。難しいかもしれませんが少しでも助けになれる回答になっていたら嬉しいです！私は青梅市が好きなのでもっと楽しい！青梅のことが好き！って言える子供が増えたら嬉しいです。よろしくお願いします??

このような意見を言える機会をありがとうございました。

○小学校は、先生方同士の雰囲気もよく、児童も活気に溢れていて毎日楽しく通えていたが、中学校に入り先生同士の関係が生徒にも伝わってきてしまい、気を遣いながら生活したり、先生の影響でメンタルが安定しなかったりしてしまい正直辛かった。他にも、高校受験の際に勉強が得意な子と対応が違いすぎて不平等に感じるとともに行きたい高校を否定されてしまった。いくら卒業して関わらなくなったとはいえ、この記憶は一生残ると思うし、こんな思いはもう誰にもしてほしくないとおもう。

○小学校中学校の9年間、特別支援学級へ在籍していました。Q15以外は母代弁です。子供が小学校在籍時は子供たち全員の成長を見守ることができると有り難い環境でした。その後人数が増えて、教室が別階になったりして縦の繋がりが少なくなり、先(先輩)の見通しがつきにくなったのでは?とっていました。やむを得ないことは承知の上ですが。特別支援学級への配慮もぜひお願い致します。

○成績の付け方及びテストの問題を各学校で統一すべきだと思う。自分が通っていた中学校では簡単に良い成績を取る条件が難しいと思うものが他校では驚くほど条件がゆるいことやその逆といったことが何回かあった。これでは不公平である。ただしこの問題は青梅市に限らず、日本全国で解決するべきだと思う。成績の付け方をぜひ見直していただきたい。

○他校との交流や海外の同世代との交流を増やすことによって、子供たちがもっと大きな視野で感じ取れる教育を培ってほしいです

○特別支援学校、特別支援学級との交流

○トイレなどの衛生面の整備は進めてくれたのでとても使いやすかった。あとはグラウンドの照明設備など部活動や体育に関する設備がもっと充実するとより快適な学校生活を送れたと思う。

○トイレを綺麗に改装して欲しい。学校もヒビなどが入っており全体的にボロボロになっている。体育館にエアコンをつけて欲しい

- 学校ごとにタブレットパソコンやiPadだったりするので同じ機種じゃないと不公平だと思った。
- 小中学校は校舎の老朽化が目立っていた。特に小学校は廊下が狭く、3年生くらいまではトイレが和式しか無かったので不便だった。中学校はピロティーの壁が割れて剥げていた。建て替えとまでは言わないので、リフォームを検討して欲しい。また、冷暖房が効きにくい教室があったり、時期が早く冷暖房を付けることが出来ないことがあったので、生活しやすい環境を整えて欲しい。
- 無理にタブレット端末を使用するべきではないと思います。何かと不便です。また東京都で決められたパソコンが使いづらいです。
- 公園と校庭で気兼ねなく遊べるようにしてほしい。年寄りを優遇し過ぎている。キャッチボールは学童の子がいるからとダメと言われ、サッカーも危ないからと少ししかできなかった。ジャパン公園はキャッチボール禁止、サッカーボールを蹴っていたら、昼間も寝てる人がいるんだ！と怒鳴ってきたおじさんがいた。親がいる時は何も言ってこない。若草公園のバスケットゴールの所でボールを蹴っていたら、おばあさん達が予約してないと使えないと言われ、場所を取られた。どこで遊べばいいのか、外で遊ぶ友達も少なくなるし、すぐ怒鳴るおじさんに何されるか分からないから怖い。学校でも遊べない。いまさらながら、子供が少なくなるのは当たり前だと思う
- 高校以上の学校を増やした方がいい（専門学校、大学）。学校だけではなく塾の補助金。治安をもう少し良くする。交通機関を増やす（バス）
- 青梅市にはあまり思入れがない。

7 青梅市内在住の18歳以上無作為抽出調査

問6 青梅市では子ども達によりよい教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。地域住民の皆様のご意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、下記の通りとなっています。

- 母校が閉校（廃校）してしまうのは寂しい事ですが、生徒数とかを見ると、寂しいとかと言う思いだけではなく、考えないといけないと思います。
- 同級生がたくさんいた方が、自分と合う人と会える可能性が増えるので、子どもにとっても統合はいいと思います。ただ、統合して学校が遠くなり通学が大変になることも出てくるので、交通手段の確保をしてあげられればと思います。
- 統廃合は必須で一学年4～6クラスの規模で集中化、スクールバスの運行で遠方通学は対応。学校作り直すより費用もかからない。先生などの人員も2校より削減可能。合わせて防災拠点も視野で整備。
- 統廃合は進めていくべきであると思うが、通学の手段や監視等も含め総合的に検討の必要があると思います。友達作りや人間関係なども、ある程度の規模がある方が良いのかなとも思いますし。
- 統合できるところは統合し、空いた学校は別施設にして貸し出すなどする。また、現在は学校に来ることができない子も多いので、不登校の子の居場所を作ったり、自然の中で体験できるようなプログラムを作ったりして、多様な子供に対応できる施設にする。
- 統合することには反対は無いが、それにより子どもたちの登下校に悪影響が出る場合はそれに対する対策が必要だと思います。
- 統合しても良いと思います。
- 伝統だの反対する人がいます。うるさい人にまどわされず将来その先の先へ変えていくことが大切です。変えていきましょう。変えられるとこまで。違ったらまた変えれば良い。消防団も

そう。元団員です。統合すればいいのにしないできない。うるさいひとがいるから。大賛成です。PTAも時代が時代だし無くてもと思う。先生ももっと簡単に仕事をしてほしい。なってほしい。余計なことが多すぎ。日本が平和ボケしてるからすぐ裁判。日本がおかしいからこうなってるかもね。モンスターに負けずにいいなりにならないように。何かいい方法はないのかな。変な文章ですいませんでしたm(_ _)m

- 増えすぎた学校を統合し、交通の便利な場所に役所を含め 学校を造り市内の循環バス等を経路に設定し学生も役所の職員も潤滑に移動・勤務・登下校できる環境を創造して欲しい。そのための青梅市の環境整備をし建物の構造も災害時に使えるよう 規模を拡大して使わなくなった校舎の増改築をして災害拠点や老人が共同生活ができる施設に設定して欲しい住み分けも必要。
- 青梅市は地域が広く統合するのはとても難しいこととおもいますが、せざるを得ない状況があると思います。それぞれの学校が待っていた地域性や特徴をうまく生かした形で統合ができると思います。地域によってはスクールバスなど通学面での整備も必要と思います。統合した場合は、不要となる建物、設備などを有効に違う方法も検討すると思います。
- 生徒数が100名未満については通学の安全性が担保されれば統合も有りかと思いますがさらに減少が予測される学校と近隣の人たちの意見も考慮して頂きたい。
- 人口が減少しているなか現状の維持は厳しいと思います。小学校と中学校の校舎を統合したり、学校施設というより、複合施設として施設整備

の充実を図ることができれば良いなと思いました。

○少子高齢化の勢いを増し続ける昨今義務教育に携わる子供達が急激に減り学校の在り方を考える時期だと思います。私の小学生の頃は1学年6クラスや7クラスありました。現在、そのほとんどが機能していない教室などはどのような活用をしているのでしょうか。また、青梅市の中でも青梅線沿線の学校などは生徒数もある程度確保していると思いますが山間部の学校では生徒数は確保出来ているのでしょうか。私は少数の学校は全て統合するべきだと思います。1つの学校を運営するのであれば生徒さんを近隣の生徒数が多い学校に市内のバスで通って頂き(運賃は市で補填)環境の整った社会で通用する人間になって欲しいと思います。また、廃校になった学校は福祉施設や災害で被害に遭われた方々に使用してもらうなど再利用して頂いたり企業に売却などももちろん耐震工事が済んでいる建物が前提ですが市の有益に使うって頂きたいです。もうひとつの提案は老朽化が目立つ学校については建て替えは必要ですが現在の校舎、校庭は3分の1にするなどスリム化を希望致します。校庭は学校の屋上でも良いと思います。商業施設やマンションの併設でも良いと思います。今後、子供が増える可能性は極めて低いですし、兎に角、コストが掛からないコンパクトな学校を作って頂きたいです。学校の取り組みや対応が良ければ移住して下さる方も増えると思います。マスコミに取り上げられるような新しい取り組みに期待しております。住民が快適に生活出来る市を目指してください。

○少子化は避けられません。そこを前提にした解決策のアイデアを組み立てて行くべきと考えます。国会議員の方も考えているようですが、全ての学校でのバス通学を実施すべきだと思います。子供達の安全を確保出来るとともに地域差も解消されると思います。全地域となれば僻地だからしょうがないというようなひがみにも似た感情は薄まると思うのですが。ただクラブ活動との整合性をどうすればよいのか解りません。放課後ではなく授業の一部に組み込んではどうでしょうか。小生は高度経済成とはまるで

異なる発想の上に立たないとこれからの日本はたち行かないと考えております。地域エゴのようなものは障害でしかないと思っております。

○少子化のため、学校の統廃合は仕方ない。今は先生不足でもある。現実的に学級担任不在のクラスもあるので、担任は確保して欲しい。

○少子化に伴い従来の学校配置や規模の見直しが課題となるのは不可避と考える。学校の統廃合により通学区域の拡大が考えられるが、市内各地域に居住する児童生徒の放課後や休日の活動は主に学校施設で行われることなども考慮すると、廃校などで使用されなくなった校舎等のインフラは学校としての機能は失うことになるとしても、これら児童生徒と地域居住の市民高齢者等との交流や活動の場として活用する方策も並行して考えるべきかと思う。

○市民センターや学校の老朽化が顕著となりその耐震化や修復等を考えると統廃合を考えるのも仕方がないことと考えます。しかしながらいま行えている事ができなくなったり不便になることは望んでいません。学校のプール、調理室、理科室やその他の空き教室を近隣住民のために開放することも考えていただきたい。施設使用料や参加料を徴収も視野に入れて、もちろん国や市町村における助成金を利用してより施設を充実させて欲しいです。調理室などは特に使用する機会が少く、その設備も時代にあっていないと感じています。プール授業は数時間なので学校内に施設がなくても良いように思います。市内に温水プールがあればそこを利用すれば季節を夏に限らず水泳を学ばせることができる。

○子供が減る以上は、施設の根本的の老朽化や維持管理費用や大規模修繕費を考えると、統廃合をして、老朽化している施設は新規に建設するしか方法は無いと思います。通学だけは安全を最大限に考慮してバスやタクシーを使って欲しいです。

○子育てからかなりの時間が経っているので最近の学校事情は良く理解できていないのですが、学ぶことを楽しめる場所であってほしいと思います。ある程度クラスもあって切磋琢磨できる環境が良いかとおもいます。統合するには、ス

クールバスやコミュニティバスなど通学しやすい環境も必要かとおもいます。

○子どもの人数が減っていることと、設備費高騰や先生の方々の業務負担低減、教育の質向上を考えたとき、学校の統合は賛成です。学校統合して削減できた経費を是非とも教育の質向上の施策に当てていただきたいと思います。更に学区を廃止し、学校それぞれが独自の教育方針を出し、親や子どもが学校を自由に選択できる制度にするとより良いと思います。また、少子高齢化や過疎化、外国人の流入に伴い、登下校の子供の安全性や大人の見守りに不安を感じています。スクールバス導入は検討していただきたいです。

○子どもたちの登下校の距離・時間などを含めた安全性を確保した上で、教員の配置やクラス人数の配分など、適切な規模に統合を検討して、それぞれの学校に過不足のない適切な予算が使われることを望みます。

○校舎の老朽化で建て替えや改修が必要な学校が増えてきたり、新しいシステムの導入が必要になってきたりする中で、学校が分散してしまっていることで環境整備が進めていけないのであれば、統合も必要な選択肢ではないかと思います。小さな修繕、改修を続けるよりは建て替えてしまう方がいい場合もあるのかもしれません。そうなったときには子どもたちの登下校の安全を守るためにもスクールバスの運用などは必須になってくると思います。また、現在各学校にあるプールですが、今後も水泳の授業が続いていくのであれば、市内に年間を通して利用できる室内プールを設置して、各学校からスクールバスで向かうような体制を作れば、天候による予定の変更が必要になったり、クラスにより回数が違ってしまったり、また昨今の異常な猛暑による様々な心配も防げるのではないかと思います。

○学校を統合し、綺麗な小中学の校舎を作ったほうが良い。

○67 小学校と67 中の 統廃合が必要なのではと思う

○1部子供の数が少なくなっている小中学校もあるかと思います。様々な考え、機会に触れ

るためにも学校の統合を視野に入れることも必要だと思います。

○①校舎施設の老朽化が目立つので、小中一貫校設立で統廃合することと並行して、スクールバスを充実させて遠距離通学を可能にするとともに児童・生徒の安全を図る。②青梅市独自の産業技術の継承を目的とした授業を取り入れる。

(外部講師)③クラブ活動を指導する外部講師やスポーツ指導者を積極的に採用する。(先生の負担を軽減すること、地域の雇用を安定させることが目的) 以上

○競争も必要なので、統廃合をして、2クラス以上を確保する。統廃合すると遠距離登校になるため、スクールバスをもって対応する。

○資料から、学校運営の現状を再確認しました。お子さんの性格等から小規模特認校(又は小規模校)の選択肢があることは評価できますが、整備された施設で子供の頃から多くの方と交流し、色々な価値感等に触れる事は、人間性や社会性を育む上でとても大事な事と思います。最近の各地の災害状況から、災害拠点という役割を担う点からも施設整備は重要です。安全管理が難しくなり、様々な問題点があるのかもしれませんが、(地域センターを含めた)学校の統合や小中一貫校の検討、それに伴うスクールバスの運営等が必要になって来るのではないかと考えます。(青梅市ならではの、自然を味方にした都内の学校があっても)

○統合は出来るだけしないほうが良いと思う。子ども達が少人数で受けるのはとても良いと思うから、学校同士の交流が沢山あると良いと思う

○通勤の安全確保の観点からもあまり遠くへの通学になる様な事にはしてほしく無い。

○孫が自然豊かな宮崎県で暮らしています。子供が少なく学校も人数が少ないです。時々会いますがとてもものびのび暮している感じです。かつて自分はたくさんの子供達の中で生活してきましたが、先生が一人ひとりと向き合う時間はなかったように感じます。統合するとより規模が大きな学校が増えてくるので、あまり賛成はできません。東京は他府県とは比べられませんが、よりよい選択を、子供たちの為に、お考え下さい。よろしくお願いします。

- 急激に子どもが増えない減るばかりだと思えます 統合も仕方がないが 規模 先生を少なくし スモール学校として残せないか？また増える事はないと思うが無くしたら新たに作れない
- 学校の統合は 通学が不便になるなら児童の安全性から優先すべきではないと思います むしろ市民センター機能との統合により 地域住民が児童を見守る環境や設備運営の効率化を検討してはいかがでしょうか 空き教室の活用や放課後の校庭の児童とスポーツ団体の交流 図書館の充実と児童の学習補助などいろいろ考えられます 教員も 児童の見えるところで地域住民の補助による業務負担の軽減が期待できるのではないのでしょうか 防災の点からも単に学校規模の縮小ではなく 効率的な管理 運用を期待します 空き教室は備蓄に利用 またプールの水も飲料水でも使えるよう設備の準備 避難施設として十分なトイレ確保など昨今の災害事例から真に必要なインフラとして既存の施設として学校はとても有用と思います
- たとえ子供達の人数減少しても少人数クラスを維持して欲しいと思います。多様性の子供一人一人にあった教育を目指して欲しいと考えます。
- 特に小学校は20人程度の少人数学級にすべきだと思います。先生の目の行き届き方が違うと思います。小学校でつまづいたり、おいていかれる子供を減らすことが、中学校やその先の子供の将来に影響を及ぼすと思います。施設維持するのにお金もかかるでしょうから、統合もやむを得ないかもしれませんが、放課後に遊んだり、学校外での友人関係の構築を考えると、遠方から通うのは望ましくないと思います。青梅市は他の自治体に比べ、グラウンドも数多くあり、外遊びできる環境は整っていると思います。昼間は自由に使えるようにするなどしてあげて欲しいです。子供の声が聞こえない町は寂しすぎます。
- 統合するに当たっては、交通等のアクセスを考えてもらい。
- 統合した場合、登下校の送迎バス等も検討して欲しい。

- 統合した際に、通学路の管理はどうするのか？通学時間が長くなる子供は…。共働き世帯が多くなっている中、通学路安全確保のために黄色い旗をもって通学路当番等を行うのか…。核家族化が進んでいる世帯の状況等を踏まえた、学校統合を望みます。統合することで各世帯に負担がかからないような仕組みを構築していただきたいです。田舎の良いところは、小さなコミュニティで生活できるところ。田舎で学校に通うまでの距離も長く、クラスの人数も多いとなると、田舎に暮らすメリットとは…。魅力的な田舎町としての発展を望みます。
- 地域による格差を無くす、幼稚園バスが有るように学校バスを運行し学校の集約化が可能では、好きな学校に行けるようになる
- 色々やりたくなる時期かもしれないが、子どもたちのことを思うなら、予算や積立金を使い果たすような施策はやめるべきと考えます。
- 小学1年生の時期は、急な環境の変化に伴い不安になる子や保護者に配慮しひとクラス30人学級を希望します
- 将来社会で就労することを考えると集団生活を経験して社会性や一般常識(学力も社会常識も含めて)を学び身につけることは大切なので、今までどおり1学級につき20人以上40人以下(資料参照)というクラス編成は良いと思いますが、近年増えてきている集団が苦手だったり発達の偏りが目立つ子供にとっては学校でストレスが多かったり、本当は環境が配慮されて心が落ち着いたり気が散らなければちゃんとできる事なのに多人数の中だと自信を無くしたり失敗が多くなる子供が昔よりも多くなっていると思いますので、少ない人数だったり、先生の個別支援が受けられたり、コロナ時代に活躍したパソコン授業だったりを取り入れて工夫された環境の学校というものもあったら良いのではないかと思います。子供の数が減ってきていることは大問題なのですが少ないと多人数よりも手厚く関わられたり丁寧な教育ができるのはメリットです。発達のアンバランスな子供が多いですが、とにかく知的な力を伸ばしてあげて、人への優しさや配慮などができる人間に育てて、将来社会で「使える大人」(良い言葉が見つからなくて失礼

な言い方ですみません)を育てることが今の時代大事なのではないかと、人を雇用する立場になりつくづく感じています。※以前幼児期の発達や母子の支援をする仕事や幼児の教育現場で働いた経験と現在は会社経営をしている立場から意見してみました。一市民の意見として理解して下さい幸いです。

○集団下校。スクールバスの検討

○冊子の生徒数の少なさを見て、。一クラスの人数が少なさに少し不安を覚えました。色んな子供達と接する機会が失われ、社会性を学ぶ機会が少し減るのではないかと思います、自分の子供を通わせるという点で少し心配になりました。もしできるのであれば、他校の子供達と交流できる機会ができれば、いいのかなと思います。

○結論として、私が言いたいのは、ahamo大盛りを駆使して、勉強のオンライン化、青梅市は、箱物を辞める、以上です。世間一般は、chatGPT の生まれた今、ホワイトカラーの平社員を軒並み、首に出来る時代がやって来てしまいました。今の子供達は、未来センスの職業訓練を受けなければ、成りません。少子化対策について私が男性だから言う訳では有りませんが、世界各国、女性の識字率が上がるに連れて、女性の生涯出生数が、減少する。これは、残念ながら、世界各国のデータとして、有ります。先進国で少子化対策に成功している国は、一つも有りません。以上の2点を踏まえると、地方都市の小学校制度、中学校制度、高校制度は、現状維持するのが、予算困難です。(だからこそ、アンケートが来るのだが) 私は、未来の学校は、友達を作る所で有り、勉強をする場所とは、考えていません。子供達は、年齢の区別無く、各地域毎に集まり、友達を作る。集まる場所とは、既存の学校ではなく、別に、何処でも、雨、風を、防げれば、良いのではないかと?勉強は、スマホ本体の勉強アプリと、パソコンを使用します。勉強場所は、各家庭の家です。家庭環境で、親が児童を勉強部屋に、預けたい人が、殆どでしょうから、学校のような、大規模の箱物ではなく、民間のアパート、マンションの部屋を、青梅市側で、勉強部屋として、提供する必要があると有ります。通信環境は、今現在の現状で言うと、子供1人につき、ahamo大盛

り、税込み4950円がベストでしょう。児童達の面倒を見るのは、学校の先生ではなく、社会経験豊富で、性犯罪歴の無い、シルバーに依頼しましょう。既存の学校の先生は、オンラインで、児童達の勉強のアドバイスを行う必要が有ります。オンラインだけではなく、オフラインミーティングは、定期的に行う必要が有ります。結論として、私が言いたいのは、ahamo大盛りを駆使して、勉強のオンライン化、青梅市は、箱物を辞める以上です。

○学校は地域の核であり、地域の要です。空き家対策、交通網、就労場所等 青梅市全体で考えていく事が望ましい。また保育園から高齢者までの学びの場所、憩いの場が施設内に併設されても良いと思います。また増えている不登校児童生徒を青梅市内だけでなく、都内全域から受け入れる留学先みたいな場所であっても良いと思います。

○学校の統廃合を考えるより先に、子育て世代が住みやすい街にして、子どもを増やすべきだと思います。

○学校の統合をする際は、親が送り迎えをしなくても通学出来るようなアクセスの良さ(通学バスなども含めて)を考えていただけたらと思います。

○学校の統合もそうですが、遠くなった場合を考えると小型のコミュニティバスなどが有ると地域のお年寄りなども含めて便利になると思います。

○学校の統合には賛成ですが、生徒たちが通うのに遠くなってしまうのが心配です。スクールバスの導入をして頂ける良いと思います。

○学校の統合となると、遠い地域も出てくるので、その辺はどう考えているのか。親が送り迎えをしなくては行けなくなる地域も出てくると思う。コミュニティバス、スクールバス等があれば、子供達の登下校が平等になるのではないかと思います。今も歩いて5分の子もいれば、歩いて30分の子もいる、真夏の暑い日に30分かけて歩いて登下校するのは熱中症のリスクも高くなる。特に下校時間は1番暑い時間になり、7月、9月でも35℃を超えている日もある。暑い時期だけでもスクールバス等、各町内に送迎が必要

のではないかと思います。時間が決まってしまうが、今後公共交通機関を利用する時が必ず来ると思うのでその練習にもなると思う。

○学校の統合ではなく、学区分けを変えてもらいたい！例えば三小は人数が多くて隣の藤橋小は少ないので三小学区の一部を藤橋小学区にすれば人数にバラつきが出ないのではないかと思います！

○一つ案を考えてみました。結論：学校の統合はしないが必要な教員の数は減る。内容：2つの学校について考える。生徒は今まで通っていた地区の学校に通うが、教員は2つの学校を交互に通勤する。具体例：片方の学校に数学・理科の教員が勤務し、もう片方の学校には国語・英語・社会の教員が勤務。翌日は科目担当教員を入れ替える。これを繰り返す。メリット：学校の統合をしないことで、より近所の学校へ通うことができるが、必要な教員の数は学校統合時と同様の数で賄うことができる。デメリット：教員の負担が跳ね上がる。思いつきです。あまり参考にしないほうがよいと思います。

○・そもそも学校統合に至るに至る背景とそれに対する対策の総括が先だと思う。・学校の統合も視野に置いて規模の適正化する事のみで教育環境が整うかは理解しがたい。・青梅市としての教育方針をより具体的に明確にすることが先だと思う。・方針を明確にする事で、目指すべき姿と現状のGAPが明確になり、そのGAPを改善する為の対応策、予算などをはっきりさせた上で、どこから手を付けるべきかの議論をするのが先だと思う。・青梅市の教育が世間から見て評価されることで、青梅市で教育を受けさせたいといった親も増え、ひいては人口増にもつながるはずである。・青梅市は自然環境も豊かで、面倒見がいい大人も多く、都心からも近い利点、強みがあるので、青梅の魅力をもっとPRする事で人口を増やすこともあわせて検討すべきである。・明星大学跡地での学園都市構想なども是非、検討して欲しい。

○保育園および幼稚園教育と小学校教育や環境の相違から小学校に入り不登校になるケースがあるようです。保育園および幼稚園から小学校入学の体験等を早期から始めて小学校教育のイメ

ージ作り等をする 것도大切だと思います。子供が学校に行きたい（楽しい）と思えるような環境作りを考えていただきたいです。

○不登校児童生徒が増えている現在、子供たちがもっと自主的自由に活動できる場所を確保し方法を考えていって欲しいです。また過重労働の教師の勤務形態を改善して1人1人の子供たちと接する時間を確保してほしいと考えます。

○地域と学校のコミュニケーションをとるために開放するのは良いと思うが、犯罪等もどこに潜んでいるかわからないので、難しいと思います。

○知的障害者たちへの正しい理解をして欲しい。度が過ぎた学歴競争をしないで欲しい。職業や年収などで差別・偏見をしない様にして欲しい

○青梅市の公立学力向上のため、秋田県教育委員会の取組を参考に、教員や学校には負担になるかもしれないが、検討いただきたい。

○生徒の意見も教育方針、運営の中に取り入れていく。

○自分は70過ぎの爺ですが、最近の ふけいが先生に対してクレームを付けすぎだとおもう、もっと先生の指導方法が見たい、

○子供達のよりよい学校って言うならまず教員の方々を教育してもらい尚且つ生徒一人一人を考えて接する態度とかを考えないとよりよい学校にはならないと思いますが??生徒が多いから出来ないとかただのいいわけではかないですよ

○子供の成長を適切に見守るためには、教師の負担を減らす必要があると思う。子供たちの体力、精神の向上や心の拠り所のために専門性の高い人材の導入が必要。いまだに悪しき昭和時代の感覚が残ることは良くない。学業以外を他者に委ねることで、学業の遅れ等へのサポートも先生方の力を発揮してほしい。また、気候の変化（主に夏）に対応して、学校行事の時期の思い切った見直しや、場所の変更（室内を利用するなど）を考え子供たちの生命、健康を守って欲しい。イジメに対しては、どんなケースも真摯な対応を望みます。周りの大人の保身、隠蔽などあり得ません。被害者にも加害者にも誠実に対応するために、これも専門家の参加を望みます。今の子供たちは、大人の社会の影響を大きく受けています。貧富の差に関わらずどの子供

も心の健康、身体の健康を平等に育むことのできる学校であってほしいと切に思います

○子供の給食費や医療費の免除・減額をして欲しい。そういった取り組みをしている地域に子供が集まっていると思います。また、学校行事(運動会など)も、コロナ後から時短になっているところが多いですが、やはり大切な子供の数少ない行事なので、色々な種目をやり、子供たちの競争心や友達と頑張るという気持ちを育ませてほしいです。

○今青梅市には日本語でのコミュニケーションに問題がある外国籍の児童がどのくらいいますか？　そういう子どもたちが疎外されない援助を教師の負担を増やさずに充実させてもらいたい。

○合理化は大切なことですが、予算面のみ焦点の当たった合理化は将来性がありません。児童、学生達に具体的な教育目標があり、これを達成する上で合理化が必要であると判断されるのであれば、その説明を公にすべきでしょう。学校は教育機関ですから、地域の受け皿と大見得を切らず、本来の機能が果たされるよに努めていただきたく思います。

○高校生から小学生までの子どもがいます。時代とともに教育活動のあり方や子どもたちの遊び方など、とくに感染症前後ですごく変わったと思います。タブレットを活用した学習はその後の中学生、高校生の学びにつながるため、良い反面、授業中に遊んでしまう子どもがいますと聞きます。先生方もICT教育をうけて、うまく授業中に活用していて関心します。学校施設は老朽化が目立ちます。子どもたちのために整えていただきたいです。将来的には子供の人数によっては、統合もやむを得ないと思います。学校や学年によっては学習を妨げるほどの状態のクラスもあると聞きます。そのへんの対応にも、力を入れていただきたいです。

○学力のレベルを統一して欲しい。

○いじめなどない楽しい学校であればいいと思います。

○5年前に立川市から転居しました。子供達は立川市の小、中学を出ている為、青梅市の学校教育が良く分からないです、が、転居して一番驚

いたのは、小、中学生がパチンコ店そばでたむろしていたり、喫煙したりしていて、放課後の居場所が無いのかな??とか思いました。立川市でもその様な事象はあるのだと思うのですが、我が家の子供達が通っていた学校では、その様な話を聞かなかったので、何かが違うのかなと漠然と思ったものです。淋しいからなのか、仲間と居ると強くなった様に感じるのか、見るからに幼い顔をみると何だか悲しい気持ちになりました。学業や成果で認められる様になれば自ずと自信も付き居場所も出来て未来の道を切り開けると思うのですが、それには、愛情が必須なのでしょうか。子供達の未来が輝かしいものであってほしいと切に願うばかりです。学校や地域、家庭や教育委員会などが連携しより良い学習環境を整えてあげて欲しいです

○学校内が全体的に暗いと思う。もっと光量を増やすべきだと思う。

○グラウンドの天然芝化が必要

○登下校中に遊びながら道路を歩いている子を見かける　車で通勤しているがヒヤヒヤしている他の場面でも注意出来ない親等が居ることに驚愕だ

○地域住民への挨拶強化をし、不審者の声かけ防止などの強化対策を設けてほしい。

○昔はよかったとかでなく、親が子供に甘いからなのか一般的な常識にける子が増えている気がします。しっかり教育して欲しいです。

○自分の子育ても終わり地域の子供さんと接することがないし、このご時世、へたに声かけるわけにも行かないし、注意することもできないし、近所付き合いもあまりなく、今後これでいいのかなー？と　疑問におもいますね

○子供と地域とのコミュニケーションが薄れて来ているので力を入れて欲しい子供の減少と高齢化に対する接触を多くする

○子ども達の健全な成長を願っています。

○学校教育環境の整備も重要だが、根本的に誰でも子供を3人以上持って大学迄全員問題なく行かせられる社会保障体制が必要だと思います。

○どの質問も「そう思う」という回答しか出来ない質問であり、否定しうるものがない。何が聞きたいのか全くわからない。これを市民の声と

して取り上げない方がいい。当たり前のことだけを聞いているため。このアンケートは非常に考えが浅く本質的に意味はないので税金の無駄、やめた方がよい。せめて聞くのであれば複数選択はやめて複数ある選択肢・方針から一つ選ぶとした方がよい。

○アンケート基準昭和58年であるが40年後の現在と40年前の昭和18年現在から40年後の2064年の生徒人口は経済状態により不変である青梅市が盤石なれば将来東京都の中心になれる準備の施策を考えておくこともありえる国の経済方策で人口の推移は判断材料になり得る！消費税を撤廃し昭和58年当時の経済力がある日本に戻す人口は右肩上がりになり得る！基本は国家国民を護る政治家が現れればこの様なアンケートをしなくても良い青梅市になることを願いたいです！